

汎用 CSV データ対応
汎用日月年報パッケージ
EMREPORT NEO 操作説明書

2011.7.11 第 1.02.02 版 (Ver1.03.04)

日本コンピューターテクノス株式会社

開発技術部

目 次

1. EMREPORT NEO 動作環境について	- 1 -
2. ご利用ライセンスについて	- 1 -
3. EMREPORT NEO セットアップ手順：	- 5 -
4. 操作イメージ：	- 10 -
4.1. 作成レポートファイルについて	- 11 -
4.1.1. レポートファイル構成及び名称	- 11 -
4.1.2. 作成レポートファイルのタグタイプによる時間の取り扱いについて。	- 12 -
4.2. 設定ツール操作方法	- 14 -
4.2.1. 共通項目の設定	- 14 -
4.2.2. データタグ設定の登録	- 19 -
4.2.3. 収集ファイル情報の確認・登録	- 26 -
4.2.4. ページレイアウトの設定	- 29 -
4.2.5. 日月報および年報作成・出力について	- 34 -
4.2.6. EMREPORT NEO 設定ツールのエラーメッセージについて	- 35 -
4.3. 手動実行の操作方法	- 36 -
4.3.1. 手動実行画面	- 36 -
4.3.2. EMREPORT NEO 作成ツールの正常 / エラーメッセージについて	- 40 -
4.4. 自動実行 常駐機能操作方法	- 41 -
4.4.1. EMREPORT NEO 自動実行の正常 / エラーメッセージについて	- 43 -
4.5. データタグ簡易設定	- 45 -
4.5.1. データタグ設定画面	- 47 -
5. レポート作成時の欠測等異常データの扱いについて	- 49 -
5.1. データファイルが存在しない場合の処理について	- 49 -
5.2. 欠測について	- 49 -
5.3. 日報の積算データの欠測について	- 49 -
6. Windows Vista / 7 及び Excel2007 での EMREPORT NEO の動作について（同環境でご使用の際は必ずご覧下さい！）	- 50 -
6.1. Windows Vista / 7 上での動作と対処について	- 50 -
6.2. Excel2007 上での動作について	- 50 -
7. 付録1 仕様：	- 51 -
7.1. 動作環境	- 51 -
7.2. スペック：	- 51 -
8. 付録2 ソフトウェア構成：	- 52 -
9. 付録3 本パッケージの機能一覧：	- 53 -

1. EMREPORT NEO 動作環境について

EMREPORT NEO は、Microsoft Windows XP / Vista / 7 の搭載された、正常動作する P C を動作環境の前提とします。
このため、以下の動作環境の P C においてのみご使用ください。

ハードウェアスペック：

P C：PC/AT 互換機

メモリ：256MB 以上（推奨 512MB 以上）

H D：40GB 以上

ソフトウェアスペック：

O S：Microsoft Windows XP / Vista / 7

Windows Vista / 7 の環境で利用する場合は「6.Windows Vista / 7 及び Excel 2007 での EMREPORT NEO の動作について（同環境でご使用の際は必ずご覧下さい！）」を参照してください。

必要ソフト：Microsoft Excel 2003 または Excel 2007 以上（必須）

Microsoft Excel は、EMREPORT NEO システムには含まれません。別途ご購入ください。

2. ご利用ライセンスについて

本システムをご利用いただく際は、パッケージに同梱されている、U S B 接続型ハードウェアライセンスキー（株式会社アラジンジャパン製）が必要となります。（下図参照）



Aladdin HASP-HL (表)



(裏)

最初に、以下の手順で H A S P ドライバのセットアップを行ってください。

EMREPORT NEO セットアップ終了後に行っても問題ありません。

HASP USB キー（上図）は、指示があるまで、P C には接続しないで下さい。

HASP-HL ハードウェアライセンスキー用ドライバ インストール手順

エクスプローラ等で、EMREPORT NEO セットアップ CD のルートフォルダにある「HASPUserSetup.EXE」を実行して下さい。以下の画面が表示されます。

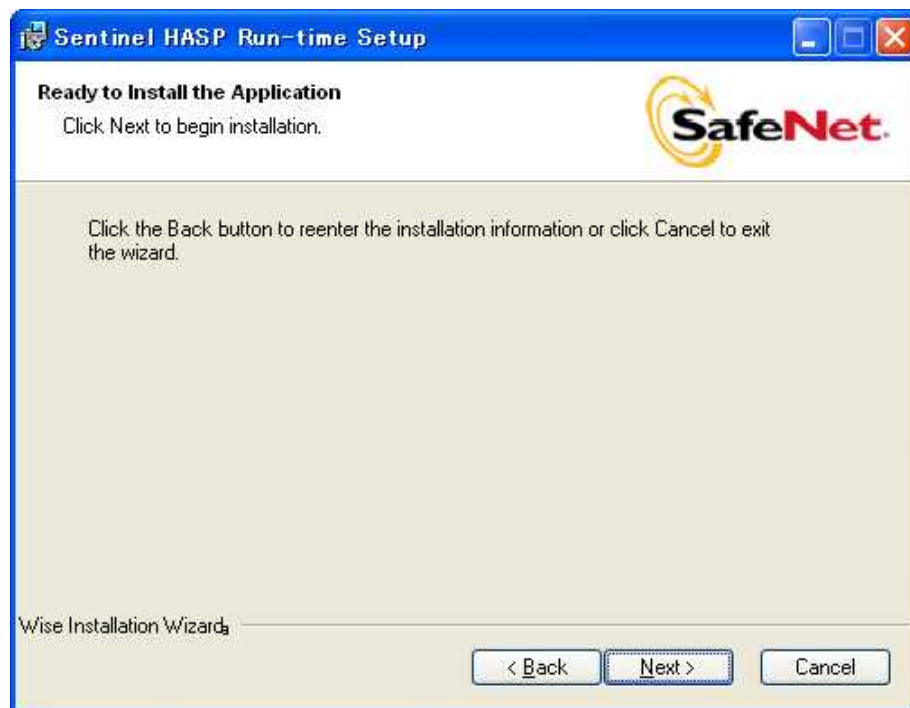


使用許諾書の画面が表示されます。



“I accept the license agreement”を選択し、[Next >]を押して下さい。





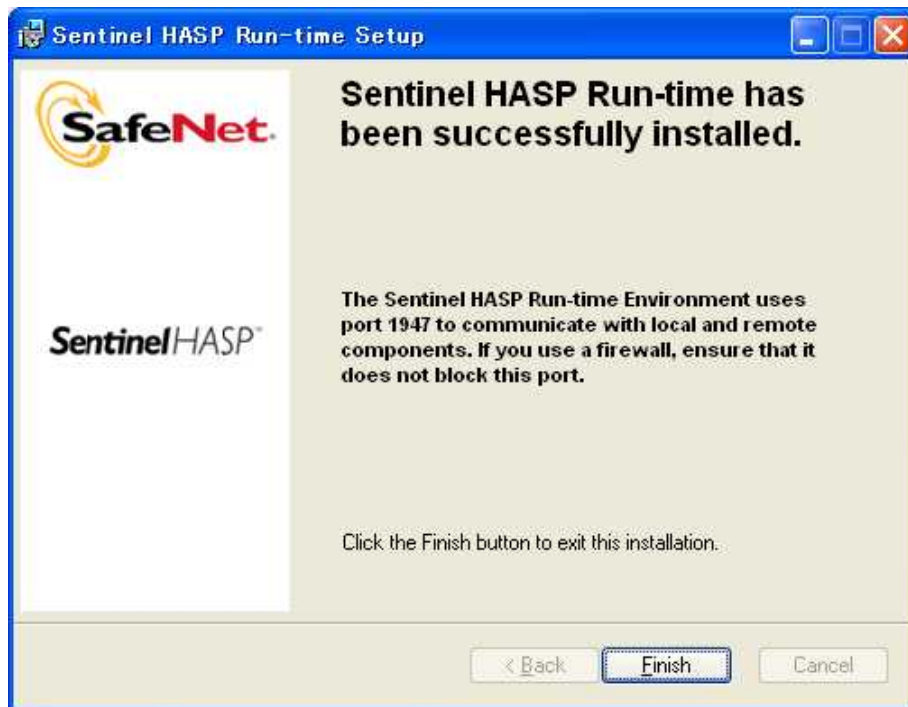
[Next >] をクリックして下さい。



インストールが続行します。



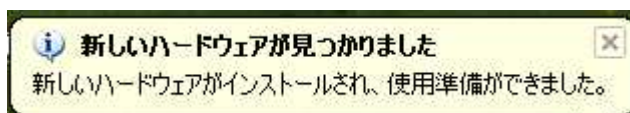
インストールが完了します。



[Finish]を押下した後、
HASP USB キーを、PC のUSB ポートに接続して下さい。



Windows より、「新しいハードウェアが見つかりました」のメッセージが複数回表示されます。



... など。

以上の手順で、HASP-HL USB キーのインストールは終了します。

EMREPORT NEO システムを運用する際は、上記 HASP キーが PC に接続された状況でご使用ください。

未接続状態でレポート作成を行うと、エラーメッセージを表示しレポート作成処理を中断します。
(共通設定画面、タグ登録画面、ページ登録画面は、正常に動作できます。また、設定した情報も正常に保存されます。)

次に、EMREPORT NEO ソフトウェアのセットアップを行って下さい。

3. EMREPORT NEO セットアップ手順：

EMREPORT NEO Ver1.xx SetupCD の中の、Setup.exe を実行します。

セットアップPC環境に、.NET Framework 2.0 の環境がなかった場合、以下のインストールメッセージが表示されます。

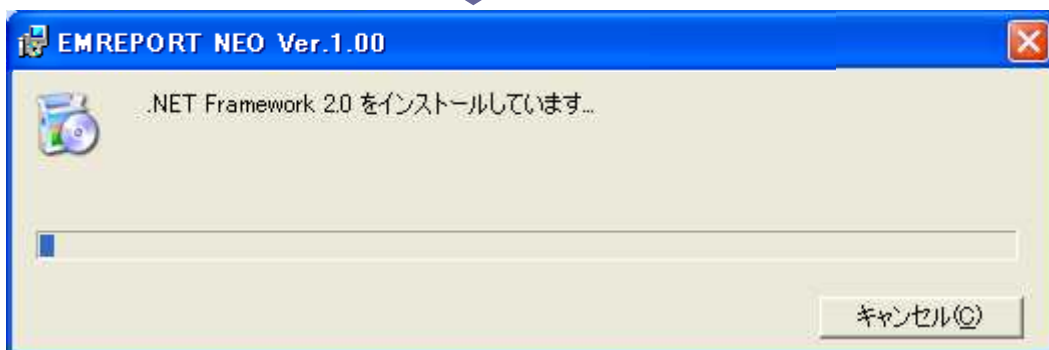


問題なければ、 をクリックしてください。次に必要なライブラリのインストールメッセージが表示されます。



問題なければ、 をクリックしてください。

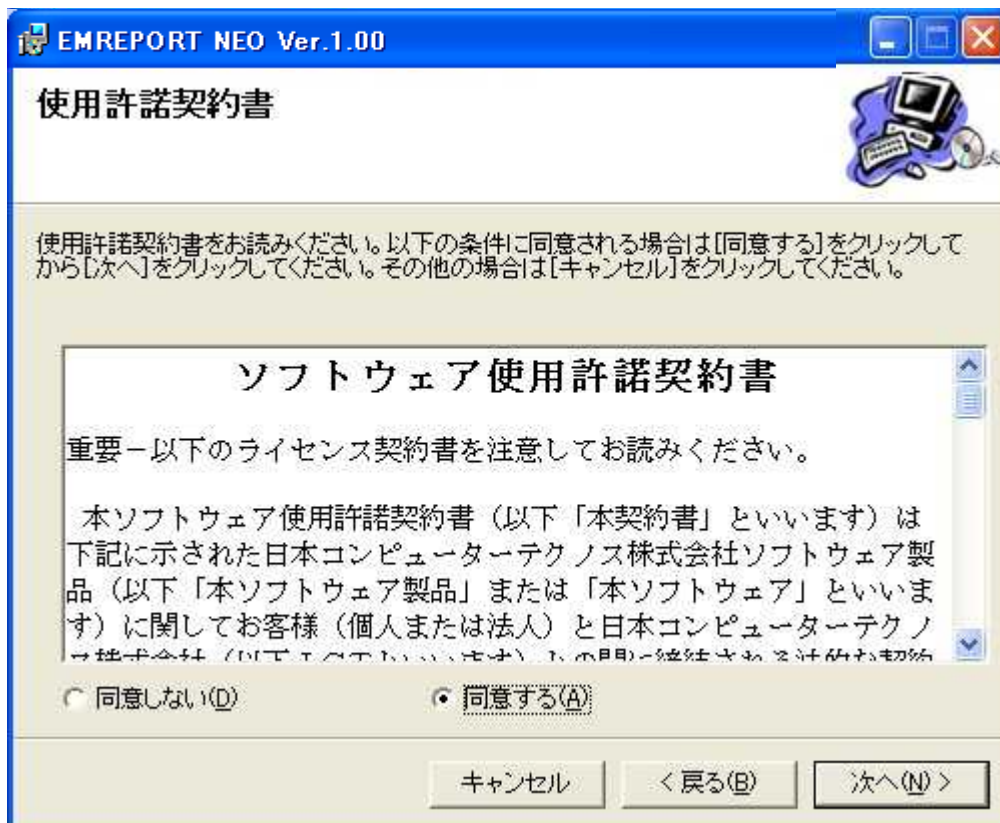
.NET 環境のインストールが開始されます。



インストール完了後、EMREPORT NEO のセットアップが開始されます。



使用許諾説明書が表示されますので、熟読の上、同意の確認をして頂くとインストール作業が続きます。



インストール先のフォルダを指定します。 特に変更が無ければ、そのまま「次へ」を押して下さい。





「次へ」ボタンで、EMREPORT NEO のインストールを開始します。

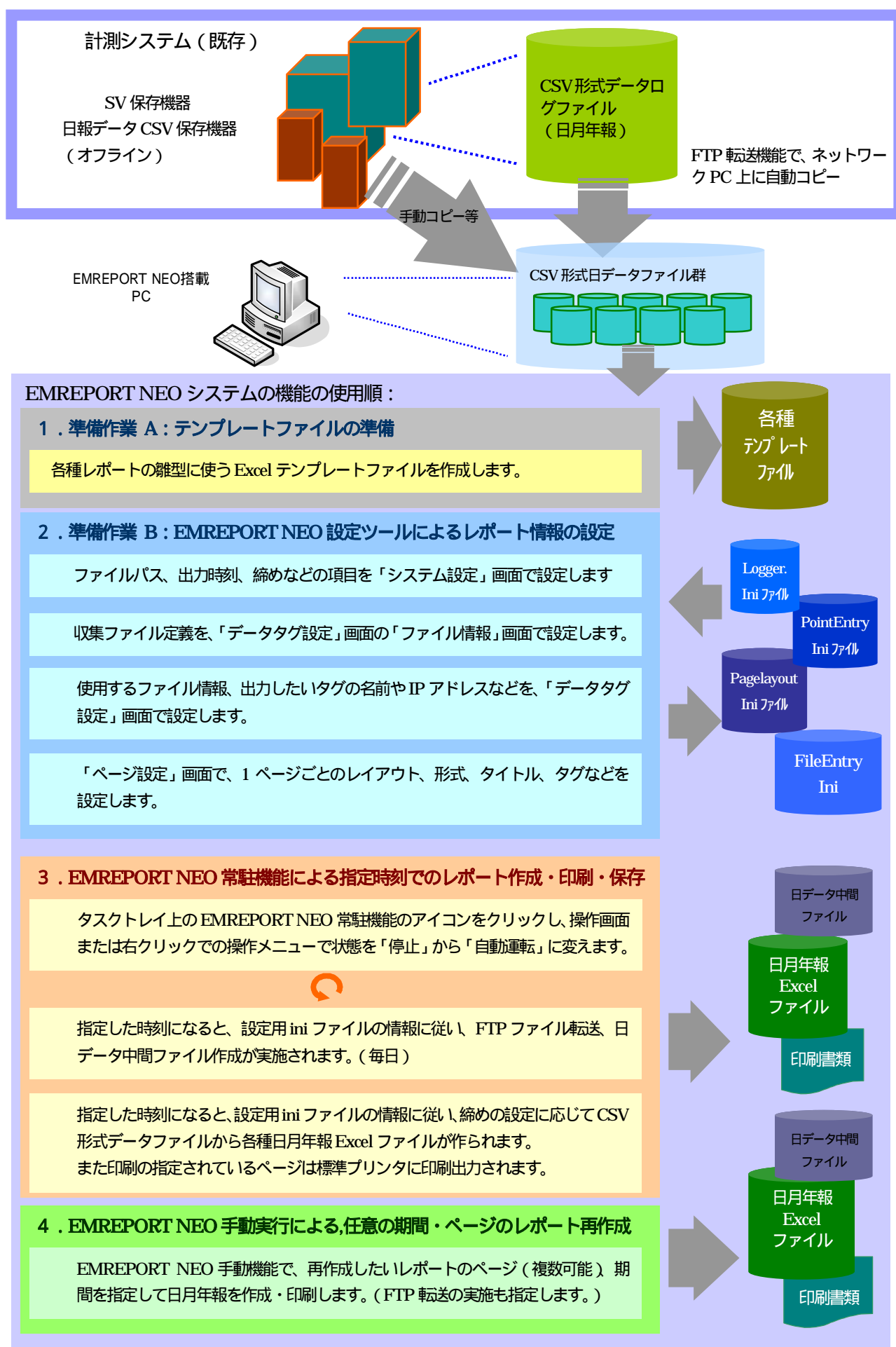




これで、EMREPORT NEO のインストールは完了です。スタートメニューに、“EMREPORT NEO” が追加されます。
アンインストールは、「プログラムの追加と削除」から行って下さい。

4. 操作イメージ：

EMREPORT NEO を利用するための手順は、次のイメージになります。



4.1. 作成レポートファイルについて

4.1.1. レポートファイル構成及び名称

本機能で作成されるレポートファイルは以下のフォルダ構成および名称となります。

フォルダ構成：

- 1) 作成レポートファイル : レポート出力フォルダ¥指定出力フォルダ
設定ツールで変更可能です。
(初期状態は、EMREPORT NEO インストールフォルダとなります)
- 2) 収集データファイル : 収集データ保存フォルダ¥指定保存フォルダ
設定ツールで変更可能です。
- 3) 日データ中間ファイル : 日データ保存フォルダ¥日データ中間ファイル
設定ツールで変更可能です。

ファイル名称：

- 1) 作成レポートファイル：
日報レポートファイル：Dyyyyymmdd.xls (例：D20090701.xls)
月報レポートファイル：Myyyyymm.xls (例：M200907.xls)
年報レポートファイル：Yyyyy.xls (例：Y2009.xls)

(yyyy：西暦 mm：月(01~12) dd：日(01~31) ppp：ページ(001~100))

yyyy、mm、ddは、レポート対象年月日です。

レポートファイル形式：Microsoft Excel Book 形式 (1 ファイル：複数シート)

シート名称：

日報シート名称：日報 ppp

月報シート名称：月報 ppp

年報シート名称：年報 ppp

(ppp：ページ No.)

設定ツールにより変更可能です。

- 2) 日データ中間ファイル：

テキストファイルで作成され、毎日の定時動作により中間ファイルは作成・更新されます。

過去 14 カ月を超えるファイルは、本システムにより自動削除されます。

4.1.2. 作成レポートファイルのタグタイプによる時間の取り扱いについて。

EMREPORT NEO での日データ処理の際、各タグのタイプにより以下の形でデータの処理・判断が行われます。御参照ください。

日データ処理時の時間毎集計方法について

日データ処理の際に行われる 1 時間毎のデータ集計についてタグ毎の対応を以下に示します。

事例) 0 時から 1 時、収集周期 15 分の場合。

差分値の場合：

1 時間の間 (0 時 1 分 ~ 1 時 0 分) の回数 (収集周期 15 分であるならば 15 分、30 分、45 分、0 分の 4 回分) を合算して 1 時間の差分値とします。(4 回収集分、データがない場合のみ欠測とします)

瞬時値の場合：

瞬時値処理 = 正時値 (0) : 1 時間毎の正時のデータ値を 1 時間の瞬時値とします。

瞬時値処理 = 平均値 (1) : 0 時 01 分 ~ 1 時 0 分の 1 時間分 (4 回) のデータ値の平均値を 1 時間の瞬時値とします。

瞬時値処理 = 最大値 (2) : 0 時 01 分 ~ 1 時 0 分の 1 時間分 (4 回) のデータ値の最大値を 1 時間の瞬時値とします。

瞬時値処理 = 最小値 (3) : 0 時 01 分 ~ 1 時 0 分の 1 時間分 (4 回) のデータ値の最小値を 1 時間の瞬時値とします。

デマンド値の場合：

0 時 01 分 ~ 1 時 0 分の 1 時間分 (4 回) のデータ値の最大値を 1 時間のデマンド値とします。

日報作成時の時間帯データの扱いについて

日データ処理の際に行われるデータ値と収集時刻表記の関連を以下に示します。

- 日報用レポート作成時に、収集データと時刻表記の組み合わせを選択する事ができます。

例：日報の出力周期が 60 分の場合、「時系列の開始」設定

- 0 時開始：0:00 ~ 0:59 のデータを、0 時分データとして扱います。0 時締めの場合、当日データは 0 時 (締め時) から始まります。(正時値は 0 時 0 分、0 時帯差分値は 0 時 0 分 ~ 0 時 59 分の差分)

- 1 時開始：0:01 ~ 1:00 のデータを、1 時分データとして扱います。0 時締めの場合、当日データは 1 時 (締め時 + 1 時間) から始まります。(正時値は 1:00、1 時帯差分値は 0:01 ~ 1:00 の差分)

例：日報の出力周期が 15 分の場合、「時系列の開始」設定

- 0 時開始：0:00 ~ 0:14 のデータを、0:00 データとして扱います。0 時締めの場合、当日データは 0 時 (締め時) から始まります。(正時値は 0 時 0 分、差分値は 0:00 ~ 0:14 の差分)

- 1 時開始：0:01 ~ 0:15 のデータを、1 時分データとして扱います。0 時締めの場合、当日データは 1 時 (締め時 + 1 時間) から始まります。(正時値は 0:15、差分値は 0:01 ~ 0:15 の差分)

例： 締め時=0 時、出力周期: 6 0 分 の場合：

◇ 0 時開始時：

- ・ 開始時刻：00 時 終了時刻 ： 当日 23 時
- ・ 00 時の対象データ： 瞬時データ = 00 時 00 分
平均/最大/最少 = 0 時 01 分 ~ 1 時 00 分までのデータ
差分データ = 0 時 01 分 ~ 1 時 00 分までの合計値

◇ 1 時開始時：

- ・ 開始時刻：01 時 終了時刻 ： 翌日 00 時
- ・ 01 時の対象データ： 瞬時データ = 01 時 00 分
平均/最大/最少 = 0 時 01 分 ~ 1 時 00 分までのデータ
差分データ = 0 時 01 分 ~ 1 時 00 分までの合計値

例： 締め時=3 時、出力周期: 6 0 分 の場合：

◇ 0 時開始時：

- ・ 開始時刻：03 時 終了時刻 ： 翌日 02 時
- ・ 03 時の対象データ： 瞬時データ = 03 時 00 分
平均/最大/最少 = 3 時 01 分 ~ 4 時 00 分までのデータ
差分データ = 3 時 01 分 ~ 4 時 00 分までの合計値

◇ 1 時開始時：

- ・ 開始時刻：04 時 終了時刻 ： 翌日 03 時
- ・ 04 時の対象データ： 瞬時データ = 04 時 00 分
平均/最大/最少 = 3 時 01 分 ~ 4 時 00 分までのデータ
差分データ = 3 時 01 分 ~ 4 時 00 分までの合計値

例： 締め時=0 時、出力周期： 1 5 分の場合：

◇ 0 時開始時：

- ・ 開始時刻：0:00 終了時刻 ： 当日 23:45
- ・ 0:00 の対象データ： 瞬時データ = 0:00
平均/最大/最少 = 0:00 ~ 0:14 までのデータ
差分データ = 0:00 ~ 0:14 までの合計値

◇ 1 時開始時：

- ・ 開始時刻：0:15 終了時刻 ： 翌日 0:00
- ・ 0:15 の対象データ： 瞬時データ = 0:15
平均/最大/最少 = 0:01 ~ 0:15 までのデータ
差分データ = 0:01 ~ 0:15 分までの合計値

システムに応じた設定を選択して下さい。

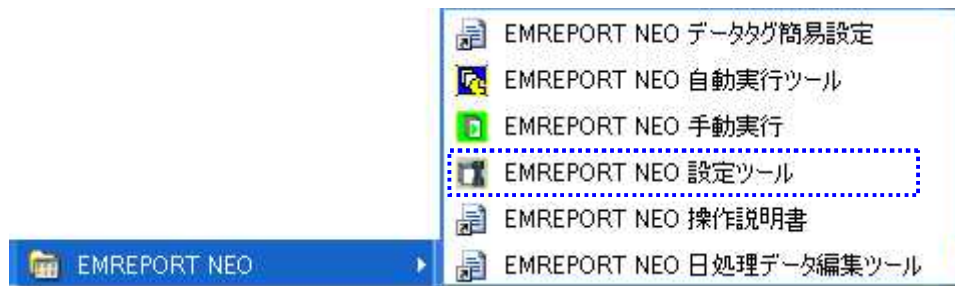


CSV ファイル出力時の時系列の開始について：

CSV ファイル出力時は、収集データ CSV ファイルから、指定周期に当てはまるデータを抜き出し、指定周期毎に集計し出力 CSV ファイルに保存するため、時系列の開始は上記と同様の扱いになります。

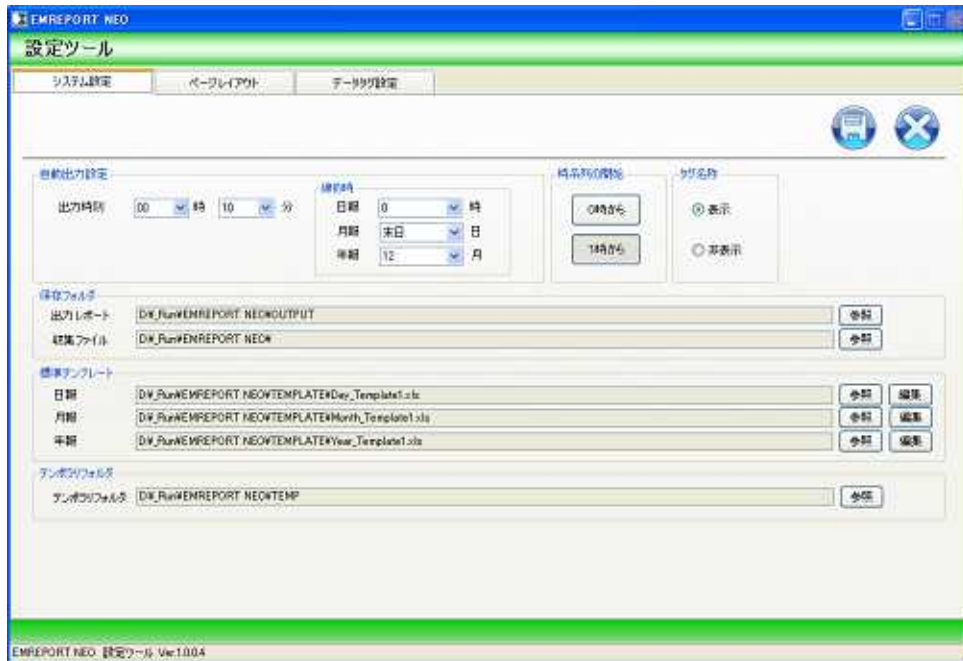
4.2. 設定ツール操作方法

EMREPORT NEO 設定ツール (EMREPORT_Tool.exe) を起動します。



4.2.1. 共通項目の設定

まず、出力時刻、締め、テンプレートファイルの設定などの共通設定を行います。



[自動出力設定]

- 出力時刻 :
レポート作成・印刷を行う時刻を設定します。なるべくデータ収集など他の処理の負荷がかからない時刻を指定してください。

[締め時]

- 日報 :
日報用レポート作成時の締め時を指定します。0～23 時指定です。レポートは指定日の締め時以降～指定日翌日の締め時までの1日間を対象として処理します。 [参照] でテンプレート参照設定画面が表示されます。
- 月報 :
月報用レポート作成時の締め日を指定します。1～28 指定です。レポートは指定月前月の締め日翌日～指定月の締め日まで (未締の場合は指定月の月初～月末) の1ヶ月間を対象として処理します。毎月末を指定したい場合は、“末日” が選択できます。 [参照] でテンプレート参照設定画面が表示されます。
- 年報 :
年報用レポート作成時の締め月を指定します。1～12 指定です。レポートは指定年の締め月翌月～翌年締め月までの1年間を対象として処理します。 [参照] でテンプレート参照設定画面が表示されます。

[時系列の開始]

日報用レポート作成時に、収集データと時刻表記の組み合わせを選択することができます。

- ・ 0時開始：0時～1時のデータを、0時分データとして扱います。0時締めの場合、当日データは0時（締め時）から始まります。（正時値は0時0分、0時帯差分値は0時1分～1時0分の差分）
- ・ 1時開始：0時～1時のデータを、1時分データとして扱います。0時締めの場合、当日データは1時（締め時+1時間）から始まります。（正時値は1時0分、1時帯差分値は0時1分～1時0分の差分）

日報作成時の時間帯データの扱いについては「4.1.2. 作成レポートファイルのタグタイプによる時間の取り扱いについて。」をご参照ください。



CSV ファイル出力時の時系列の開始について：

CSV ファイル出力時は、収集データ CSV ファイルから、指定周期に当てはまるデータを抜き出し、指定周期毎に集計し出力 CSV ファイルに保存するため、時系列の開始は上記と同様の扱いになります。

[タグ名称]

タグ名称を、帳票に表示するかどうかを選択指定します。

[保存フォルダ]

- 出力レポート：
レポート作成時の作成されたファイルの保存先を指定します。この中に、レポートファイルが自動作成・保存されます。
デフォルトは、[EMREPORT NEO のインストールフォルダ]¥OUTPUT フォルダ になります。
- 収集ファイル：
各計測システムから収集したデータ CSV ファイルの保存先を指定します。この中に、データ CSV ファイルが保存されます。
デフォルトは、[EMREPORT NEO のインストールフォルダ]になります。

[標準テンプレート]

- 年報：
年報用レポート作成時の雛型となるテンプレートファイルを指定します。Excel ファイルのみを対象とします。デフォルトは、[EMREPORT NEO のインストールフォルダ]¥TEMPLATE¥Year_Template1.xls となります。
- 月報：
月報用レポート作成時の雛型となるテンプレートファイルを指定します。Excel ファイルのみを対象とします。デフォルトは、[EMREPORT NEO のインストールフォルダ]¥TEMPLATE¥Month_Template1.xls となります。
- 日報：
日報用レポート作成時の雛型となるテンプレートファイルを指定します。Excel ファイルのみを対象とします。デフォルトは、[EMREPORT NEO のインストールフォルダ]¥TEMPLATE¥Day_Template1.xls となります。

[テンポラリフォルダ]

- テンポラリフォルダ：

作成した日データ CSV ファイルの保存先を指定します。この中に、日データ CSV ファイルが保存されます。

デフォルトは、[EMREPORT NEO のインストールフォルダ]¥TEMP フォルダ になります。

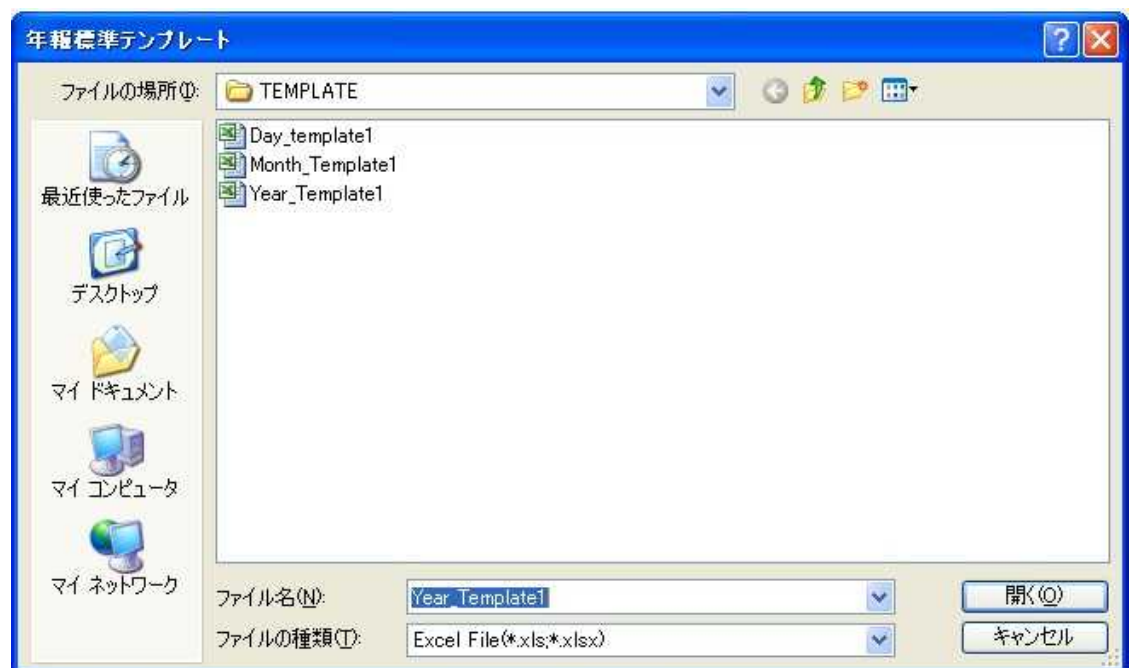


ユーザーテンプレートの追加について

EMREPORT NEO には標準のテンプレートが同梱されておりますが、「参照」ダイアログより任意のテンプレートに変更することが出来ます。(ページごとにも可能です。)

変更を行ったテンプレートで印刷を行うことにより、グラフ等を活用したレポートファイルを自動的に作成することも可能です。

・対象テンプレートファイル設定ダイアログ



設定可能なテンプレートファイルの種類は、*.xls / *.xlsx となります。

変更後テンプレートの一例

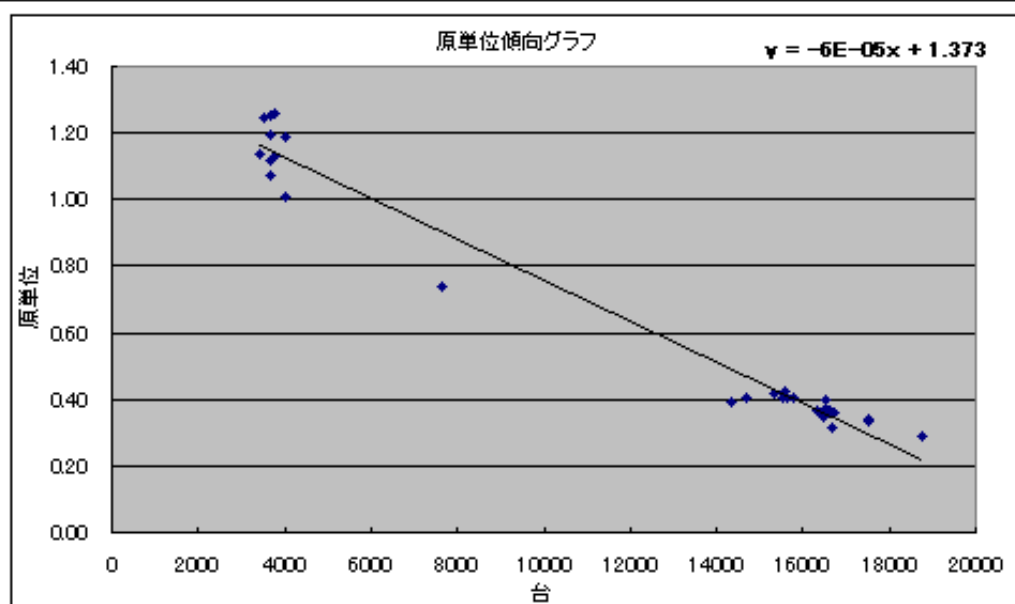
全日通(株)工機 ユニテリテ

製造部製造課

【コメント】

承認	部署	担当

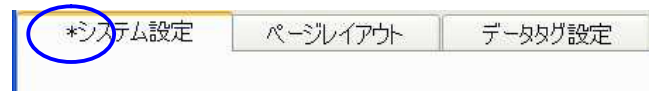
11月	製造原単位	生産台数	動力総計	No1生産ライン動力	No2生産ライン動力	No3生産ライン動力	エア圧力(1F未満)	No1コンプレッサ動力	No2コンプレッサ動力	No4コンプレッサ動力
		台	kWh	kWh	kWh	kWh	MPa	kWh	kWh	kWh
1日	0.42	15343	6438	2612	1839	2185	0.822	205	18	0
2日	0.35	18453	5715	2287	1493	1935	0.824	200	14	1
3日	1.25	3881	4801	2248	1948	407	0.823	200	15	0
4日	0.40	14898	5914	2305	1743	1888	0.824	200	18	0
5日	0.38	18453	5845	2158	1498	2191	0.827	204	14	0
6日	1.01	4005	4005	2113	1514	400	0.823	200	17	0
7日	1.19	4021	4772	2787	1588	407	0.815	202	39	30
8日	0.40	15543	6253	2784	1548	1941	0.817	204	50	34
9日	0.37	18352	6028	2484	1494	2080	0.811	205	51	34
10日	0.74	7843	5852	2245	1494	1913	0.812	205	53	34
11日	0.34	17543	5998	2488	1333	2197	0.807	204	50	34
12日	0.29	18744	5415	2213	1233	1969	0.812	200	53	35
13日	1.14	3431	3901	2258	1233	410	0.812	207	50	34
14日	1.07	3885	3904	1988	1544	404	0.81	204	50	34
15日	0.31	18899	5248	1875	1543	1830	0.813	204	49	34
16日	0.38	18843	6067	2787	1334	1988	0.809	200	50	33
17日	0.42	15588	6805	2778	1833	2198	0.818	205	50	34
18日	0.33	17543	5817	2098	1839	2080	0.817	208	31	24
19日	0.38	18745	5990	2784	1345	1881	0.82	205	14	18
20日	1.24	3544	4405	2458	1532	417	0.813	208	17	17
21日	1.13	3785	4258	2112	1743	400	0.822	207	15	18
22日	0.37	18343	6202	2490	1788	1943	0.824	205	15	17
23日	1.12	3892	4134	2405	1325	404	0.823	204	17	19
24日	0.40	18332	6537	2588	1553	1998	0.823	200	17	19
25日	0.39	14324	5823	1988	1877	1958	0.812	207	50	34
26日	0.41	15784	6411	2543	1899	1969	0.827	204	14	0
27日	1.19	3855	4381	1924	2022	415	0.813	204	49	34
28日	1.28	3784	4741	2442	1898	413	0.824	205	15	17
29日	0.38	18423	5905	2543	1532	1830	0.817	204	50	34
30日	0.40	15854	6314	2545	1343	2028	0.823	200	17	19
31日										
最大	1.28	18744	6805	2588	2022	2197	0.827	207	53	35
最小	0.29	3431	3901	1875	1233	400	0.807	202	14	0
平均	0.83	11814	5437	2400	1589	1488	0.818	204	32	21
積算		354421	183112	72003	47074	44035	14.821	4901	785	503



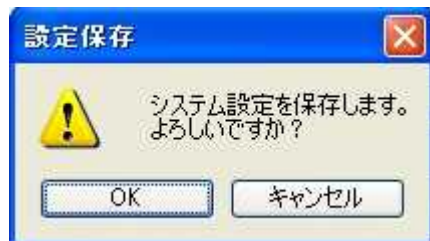
以上の例のほかにも、お客様にご用意いただいたテンプレートを用いる事により多彩なテンプレートによる印刷が可能となります。

設定情報を保存する場合には、[保存] ボタンをおして ini ファイルに情報を保存します。

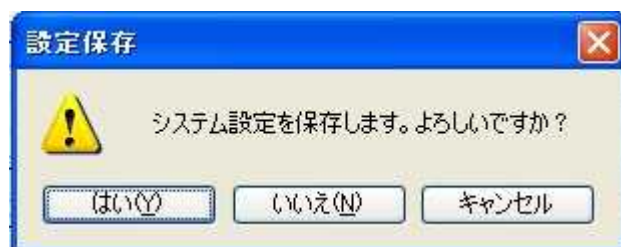
設定データの編集を行った場合、画面タブ左横に、"*" が表示されます。これは「変更後未保存情報があります。」の意味になります。「保存」を行った時点で、このマークは消されます。



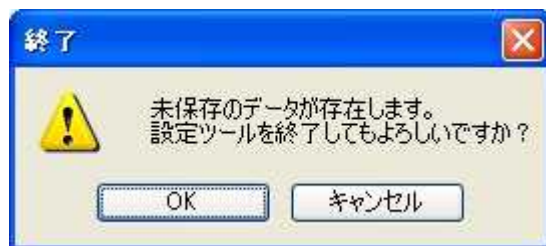
[保存] ボタンを押したときは、以下の確認ダイアログが表示されます。



未保存の状態でタブを移動する際も確認ダイアログが表示されます。



保存する前に [終了] ボタンを押したときは、以下の確認ダイアログが表示されます。



注意

テンプレートを作成される場合、各テンプレート用 Excel ファイル中のシート数、名称は標準添付のテンプレートシートに従ってください。異なるシート名称の場合、正常にレポートが作成されません。

- ・ 各 Excel テンプレートファイルのシート数: 1ファイルにつき1枚
- ・ シート名称 日報の場合: “日報”、月報の場合: “月報”、年報の場合: “年報” となります。

4.2.2. データタグ設定の登録

各レポートに出力する予定のタグの情報を、登録します。

ここで登録したタグは、日報 / 月報 / 年報の各ページレイアウト時に、共通して使用可能となります。
また、入力ファイル情報の定義もこの画面から呼び出します。

No.	タグID	タグ名称	単位	タイプ	種別	収集ファイル名	定数値
0001	TAG	TAG	kwh	瞬時値	正時値	収集ファイル設定01	
0002	TAG002	TNAME	kwh	瞬時値	平均値	収集ファイル設定01	
0003	CALC	CALC	kwh	演算式		収集ファイル設定01	
0004	avr	avr	kwh	瞬時値	平均値	収集ファイル設定01	
0005	min	min	kwh	デマンド値		収集ファイル設定01	
0006	TAG003	TAG003	kwh	瞬時値	正時値	収集ファイル設定01	
0007	TAG004	TAG004	kwh	定数値		収集ファイル設定01	60
0008							
0009							
0010							
0011							
0012							
0013							
0014							
0015							
0016							


- No. : 登録タグのNo.です。登録時の固定値になります。(1~2000)
- タグ ID : タグの名称です。CSV ファイルのタグ名と同定するために使います。
収集ファイル名別で同一のタグ名の重複登録が可能です。(必須項目です。)

・未入力エラー時：



・重複エラー時：



 **注意** ページレイアウトで指定される登録タグは、プログラム内部ではタグ登録画面の“ No ”で記憶されます。 このためタグ登録画面で任意のタグのタグ名称が変更された場合、その No . のタグを使用しているページレイアウト上も自動的にタグ名が修正されます。使用済みのタグ名称を変更する場合、ご注意下さい。

- **タグ名称** : タグの名称です。変更可能です。
- **単位** : タグの単位です。初期値は、タグ登録時の単位です。変更可能です。
- **タイプ** : タグのタイプを設定します。(必須項目です)
瞬時値を設定した場合には、ページレイアウト設定で合計値の出力を設定しても、レポート上には出力されません。
- **種別** : 瞬時値の際の1時間ごとの統計方法を指定します。
(正時値 / 最大値 / 最小値 / 平均値 / 積算値)(瞬時値の際のみ有効項目です。)

重要! タグタイプによる、日報の時間データの集計処理について

瞬時値、差分値、デマンド値のそれぞれで収集周期が1時間未満 の場合、各**タグタイプ**及び**瞬時値処理**により、日報の時間データについて以下の形で自動的にデータの集計が行われます。

差分値の場合；

時間帯分の回数(15分なら15分、30分、45分、0分の4回分)を合算して1時間の差分値とします。(1時間帯分、データがない場合のみ欠測とします)

瞬時値の場合：

瞬時値処理 = 正時値(0)	： 1時間毎の正時のデータ値を1時間の瞬時値とします。
瞬時値処理 = 平均値(1)	： 1時間帯分のデータ値の 平均値 を1時間の瞬時値とします。
瞬時値処理 = 最大値(2)	： 1時間帯分のデータ値の 最大値 を1時間の瞬時値とします。
瞬時値処理 = 最小値(3)	： 1時間帯分のデータ値の 最小値 を1時間の瞬時値とします。

デマンド値の場合：

1時間帯分のデータ値の**最大値**を1時間のデマンド値とします。

積算値の場合：

1時間毎の正時のデータ値を1時間の積算値とします。

- 収集ファイル名：収集ファイルの名称を選択し、入力ファイルを確定します。（必須項目です。）
収集ファイルのファイル情報登録は、[ファイル情報一覧] ボタンにより表示されます。

【対象ファイルの詳細情報】：以下は対象ファイルの詳細情報（表示のみ）です。

- ◇ 収集ファイル名：収集データ CSV ファイルの名称です。
 - ◇ 収集周期：収集ファイルのデータ収集周期を指定します。
(1/5/10/15/30/60 分より1周期)
 - ◇ IP アドレス：FTP 転送する場合の接続先 IP アドレスを指定します。
 - ◇ 転送元フォルダ名：FTP で転送する時の CSV ファイルの保存フォルダ
 - ◇ 転送元ファイル名：FTP で転送した CSV ファイル名を指定します。
 - ◇ 保存先フォルダ名：FTP で転送した CSV ファイルを保存する PC のフォルダを指定します。
- 定数値：
タイプが「定数値」の時に設定します。
定数値のタグを帳票のレイアウトに設定したときに出力する値を設定します。
- [削除] ボタン：現在編集中のタグ情報を削除します。確認ダイアログが表示されます。
削除対象のタグがページレイアウトに採用されている場合は、ページレイアウトから自動的に削除されます。リストとタグ No. は同期します。
- タグ情報グリッド：タグ情報を表形式で表示する領域です。
情報内容は、上記各項目で表示 / 入力した情報と同じ内容になります。
スクロールバーで No. 1 ~ 2000 までのタグ情報が表示されます。
このグリッド上で、直接情報を書き換えることも可能です。
また、任意のフィールドを指定して、そこからクリップボード上のデータを貼り付ける事ができます。
タグ情報グリッドで「CTRL+未選択のタグをクリック」、「開始行を指定して、SHIFT+タグをクリック」、「タグ情報をドラッグ&ドロップ」することで、複数のレコードを選択することが可能です。複数のレコードを選択した場合、画面上部に表示されている詳細情報では入力不可の状態になります。

尚、表上部の項目名のクリックで、任意の表の並べ替えが可能です。
(タグ No、タグ ID、タグ名称、単位で並べ替え可能です。)

- 演算式：
タイプが「演算式」に設定した場合、「設定」ボタンがクリック可能となります。
(演算式が設定可能かどうかは、パッケージ情報(別紙)に記載されています)

単位	タイプ	種別	収集ファイル名	定数値	演算式
kwh	瞬時値	正時値	収集ファイル設定01		設定
kwh	瞬時値	平均値	収集ファイル設定01		設定
kwh	演算式				設定 *
kwh	瞬時値	平均値	収集ファイル設定01		設定
kwh	デマンド値		収集ファイル設定01		設定

設定の「*」印は、演算式の設定があることを示します。

「設定」ボタンをクリックすると、演算式を設定する画面を表示します。



演算式入力領域に、演算式を入力します。演算式を入力後、「演算式のチェック」をクリックすると、構文チェック、演算式の妥当性、括弧のネストなどをチェックします。

「登録」ボタンをクリックすると、演算式のチェック後、データタグ設定の画面へ戻ります。この時点の登録ではファイルへの書き込みは行いません。データタグ設定画面の登録ボタンをクリックした時点で再度チェックが行われ、ファイルへの書き込みを行います。

設定する演算式の構文は次の通りになります。

構文

[(] 定数 or タグ参照 [[演算記号 定数 or タグ参照][演算記号 定数 or タグ参照][(]
[演算記号 [(] 定数 or タグ参照] [)] [)] [)]

[] は省略可能
or はどちらかを指定

【定数】

整数値 ... 32 ビットの範囲 (-2147483648 ~ 2147483647)
小数値 ... Double 型の範囲

【タグ参照】

書式 : [TAG:###] (###はタグ番号)

###が示す番号のタグの値に置き換えて計算を行います。

タグNo15の場合、「[TAG:15]」となります。

自分を示すタグ番号、相互参照となるタグ番号の指定はできません。

【演算記号】

+ 足し算
- 引き算
* 掛け算
/ 割り算

【比較演算子】

演算式に挿入する事で、比較演算子の左辺と右辺の値を比較し、その結果を真（1）か偽（0）で表す。

該当の比較演算子は、式が「真」だった場合、レポートの該当時間の演算結果に「1」を「偽」であった場合、レポートの該当時間の演算結果に「0」を記入する。

- =左辺と右辺が同じである時に真とする。
- < =左辺が右辺以下である時に真とする。
- > =左辺が右辺以上である時に真とする。
- <左辺が右辺未満である時に真とする。
- >左辺が右辺より大きい時に真とする。
- < >左辺と右辺が同じではない時に真とする。

例

- ・タグNo50 番の値を 0.1 倍する
 $[TAG:50] * 0.1$ または $[TAG:50] / 10$
- ・括弧つき演算（括弧内を優先して計算）
 $10 + ([TAG:20] + 100) * [TAG:10]$
（括弧内の 20 番タグの値に 100 足して、その値に 10 番タグの値をかけて、10 足します）

入力支援

画面上のタグ参照、四則演算の機能を使用すると、演算式を簡単に設定することが可能です。

【タグ参照】

タグ参照		
No.	タグID	タグ名
0001	TAG001:CV	TAG001(瞬時値 / 正時値)
0002	TAG001:AVE	TAG001(瞬時値 / 平均値)
0003	TAG001:MAX	TAG001(瞬時値 / 最大値)
0004	TAG001:MIN	TAG001(瞬時値 / 最小値)
0005	TAG002	TAG002(差分値)
0006	TAG003	TAG003(ゲマンド値)
0007	TAG004	TAG004(定数)
0008	TAG005	TAG005(算算)

タグ参照の一覧に、現在設定されている有効なタグがすべて表示されます。その中のタグを選択して、「挿入」ボタンをクリック（または、一覧をダブルクリック）すると、演算式入力領域のカーソル位置に、タグを参照する文字列（[TAG:###]）が入ります。

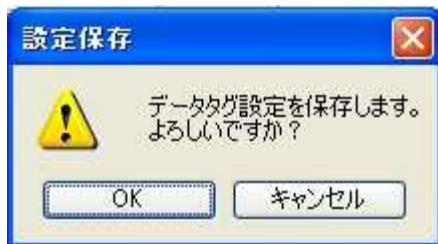
タグを複数選択すると、「+」「-」「×」「÷」の「演算子」のボタンがクリック可能となります。各「演算子」のボタンをクリックすると、「[TAG:####] (演算子) [TAG:####] ...」の文字列が演算式入力領域のカーソル位置に入ります。

【四則演算】

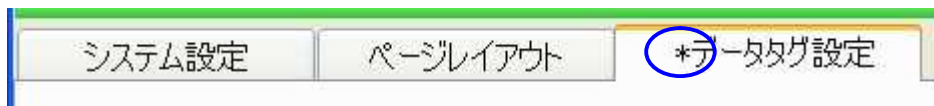


テンキーのボタンをクリックすると、表示されている文字を、演算式入力領域のカーソル位置に入れます。ただし、特殊なボタンとして「DEL」ボタンは、1文字削除、「SPC」ボタンはスペースを1文字挿入します。

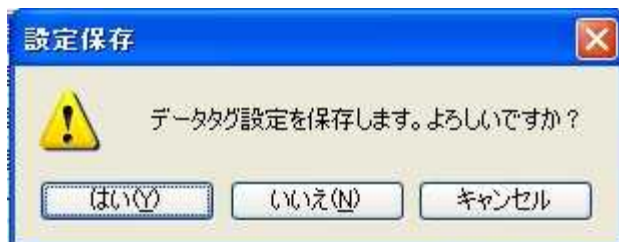
- [貼付] ボタン : 他ソフト及び[コピー] ボタンでコピーしたクリップボードのデータを、タグ情報グリッド上のカレントのフィールドから貼り付けます。
複数のタグ情報をコピーした場合には、複数行に渡って貼り付けを行います。
- [コピー] ボタン : タグ情報グリッド上で、現在選択されているレコードのタグ情報をクリップボードにコピーします。登録済のタグをコピーしたい場合に利用します。
複数タグの選択が可能です。
- [削除] ボタン : 現在編集中的タグ情報を削除します。確認ダイアログが表示されます。
削除対象のタグがページレイアウトに採用されている場合は、ページレイアウトから自動的に削除されます。リストとタグNo.は同期します。
- [保存] ボタン : 現在のタグ情報(全タグ分)を、ini ファイルに保存します。



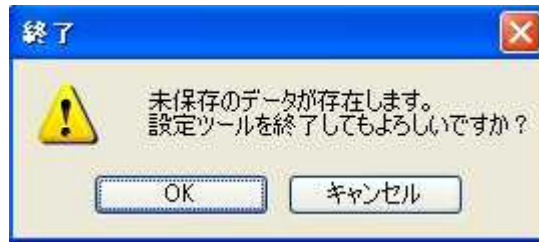
未保存の修正データがある場合は、データタグ設定のタブタイトルの先頭に“*”が表示される形となります。「保存」を行うと消去されます。



未保存の状態ですべてのタブを移動する際も確認ダイアログが表示されます。



- [終了] ボタン : 本処理を終了します。(確認ダイアログが表示されます)
未保存での本処理終了した際も確認ダイアログが表示されます。



- 「ファイル情報一覧」: 収集ファイル情報の一覧画面が表示されます。

4.2.3. 収集ファイル情報の確認・登録

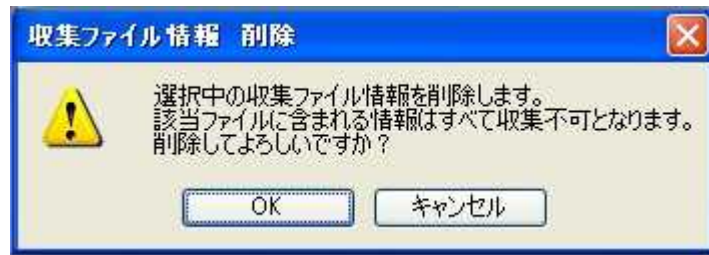
タグ登録画面から、[ファイル情報一覧] ボタンの押下で、各タグの収集データが保存されている個別の収集ファイル情報の一覧が表示されます。この画面で、収集ファイルの情報の登録・編集が行われます。

収集ファイル情報一覧



- 収集ファイル名 : 該当するファイル名称を任意に入力します。この名称が収集ファイルの識別名となります。
- 収集周期 : 対象の収集周期を表示します。
- 転送 : 対象の収集ファイルがFTP 転送対象か否かを表示します。
- IP アドレス : 対象の接続 IP アドレスを表示します。(IPv4 形式)
- ユーザー名 : 対象の FTP 接続時のユーザー名を表示します
- 転送元フォルダ名 : 対象の収集データファイルが作成されている FTP 側のフォルダを、FTP ルートフォルダからの相対パスで表示します。
- 転送元ファイル名 : 対象の収集データファイル名を表示します。
- 保存先フォルダ名 : FTP で転送コピーをした収集データファイルの P C 上での保存フォルダをシステム設定の収集ファイル保存フォルダからの相対パスで表示します。
- [追加] ボタン : 収集ファイル情報を追加します。最大 1000 件まで登録可能です。
(下記編集画面の、データ初期値表示イメージとなります。)
1000 件登録時に追加を行うと、「収集ファイルの追加は最大 1000 件までです。」の注意メッセージが表示されます。
- [編集] ボタン : 一覧表上で選択中の機器の収集ファイル情報の編集画面が表示されます。
(下記編集画面の、データ初期値表示イメージとなります。) 一覧表上で、ダブルクリックを行った際も該当行の編集画面が表示されます。

- [削除] ボタン : 登録済み収集ファイルの削除を行います。ボタン押下で、
「選択中の収集ファイル情報を削除します。該当ファイルに関連付けられているタグはすべて収集不可となります。 削除をしてよろしいですか？ (OK、キャンセル)」の確認ダイアログが表示されます。 ☐ OK で選択中の収集ファイル情報がファイルから消去されます。



削除した収集ファイルは、前詰めされます。

- [閉じる] ボタン : 本ダイアログを閉じ、データタグ設定画面に戻ります。

収集機器情報編集画面

収集機器情報編集・追加画面

FTP 転送有

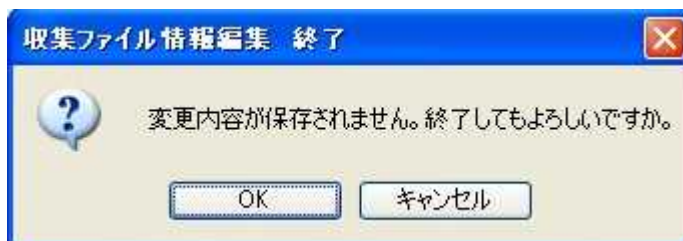
FTP 転送無

- 対象ファイル名 : 収集ファイルのNoです。自動的で付番を行います。(変更不可)
- ファイル転送対象 : 収集データファイルがFTP自動転送対象か否かを指定します。
- 収集周期 : データ収集周期を、ラジオボタンで選択します。
- FTP 設定 : ファイル転送対象の際のみ必要となります。
(FTP転送が可能かどうかはパッケージ情報(別紙)に記載されています)
 - IP アドレス : FTP接続時のIPアドレスを、IPv4形式で設定します。
 - ユーザー名 : FTP接続時のユーザー名を指定します。
 - パスワード : FTP接続時のパスワードを指定します。
 - 転送元フォルダ名 : 収集データファイルが作成されているフォルダを、FTPルートフォルダからの相対パスで指定します。

- 転送元ファイル名 : 収集データファイル名を指定します。
転送対象外の場合も利用します。
- 保存先フォルダ名 : FTP 等で転送コピーをした収集データファイルの PC 上での保存フォルダを
システム設定の収集ファイル保存フォルダからの相対パスで指定します。
保存ファイル名は、転送元のファイル名と同様となります。
- [保存] ボタン : 表示中の収集ファイル情報を保存します。



- [終了] ボタン : 本画面を終了し、収集ファイル一覧画面に戻ります。
変更保存前の場合、確認ダイアログが表示されます。



ファイル収集、日集計処理、レポート作成処理時にタグに対し、該当の収集ファイル名、または該当のファイルタイプが存在しない場合は、レポート作成機能でエラーを出力し、該当 CSV ファイル不明として処理をスキップします。

4.2.4. ページレイアウトの設定

ページごとに、レポートの種類、各種レイアウトの設定を行います。

EMREPORT NEO 設定ツール Ver.1.0.0.4

- ページ : 編集するページ No. です。上下ボタン及び直接入力が可能です。(1~100)(必須です)
- 有効指定 : 自動 / 手動のレポート作成対象とするか否かを指定します。

注意! 手動印刷時には、この有効指定が「有効」のページのみ出力されます。
「無効」の場合は、手動出力の画面で指定することができません。

- 自動作成 : 自動作成時の対象とするか否かを指定します。
- 自動印刷対象 : レポート自動作成時の自動印刷の有無を指定します。
- ページタイトル : レポートに表示されるページ毎のタイトルを指定します。
- レポート種別 : 日報 / 月報 / 年報の中から任意のタイプを選択します。(必須です)
- 日報出力周期 : 日報 CSV ファイルの収集周期を指定します。 1 分 / 5 分 / 10 分 / 15 分 / 30 分 / 60 分から選択します。(レポート種別が「日報」の場合、必須項目です。)
- 集計項目 : データ領域下部の 1 ~ 4 行目に出力する各種統計情報を設定します。
 - ・集計の種類 : なし / 平均値 / 合計 / 最大値 / 最小値 / 最終値
 - (瞬時値のタグは合計値をページ設定で設定しても計算は行いません。積算値のタグは合計値、平均値、最大値、最小値をページ設定で設定しても計算は行いません。積算値のタグは、集計項目にて「最終値」に選んだ時、最後の値が出力されます。)
- 優先テンプレート : このページに使用したいテンプレートファイルを [参照] ボタンにより指定します。既存のファイルのみ指定可能です。[編集] ボタンで現在設定しているテンプレートを Excel で開きます。[クリア] ボタンで優先テンプレートの設定を削除します。
- ページシート名 : 帳票出力後のシート名を指定します。レポート種別ごとに重複しないように設定します。

- 表示レイアウト - タイトル：タイトルを埋め込む、セル位置（行／列）を数字（１スタート）で表示します。
- 表示レイアウト - 対象日時：対象日時を埋め込むセル位置（行／列）を数字（１スタート）で表示します。
- 表示レイアウト - データ部：埋め込み開始行の開始セル位置（行／列）を数字（１スタート）で表示します。
このセル位置を設定すると、見出し部、日時データ部、収集データ部、統計データ部を自動的に計算します。統計データ部はデータ領域のすぐ後ろとなります。
レポート種別が日報の場合、日報出力周期を考慮して統計データの位置を計算します。
- 表示レイアウト - 見出し部：ID領域の開始のセル位置（行／列）を数字（１スタート）で表示します。
- 表示レイアウト - 日時データ部：日時領域の開始のセル位置（行／列）を数字（１スタート）で表示します。
- 表示レイアウト - 収集データ部：データ領域の開始のセル位置（行／列）を数字（１スタート）で表示します。
- 表示レイアウト - 統計データ部：集計項目を表示する開始のセル位置（行／列）を数字（１スタート）で表示します。

データ部	見出し部				
	(タグ名領域)				
	(単位領域)				
日時データ部	収集データ部				

上記のレイアウトで、データが埋め込まれます。

データ部は、表上のグレー部分の行列位置を指定してください。

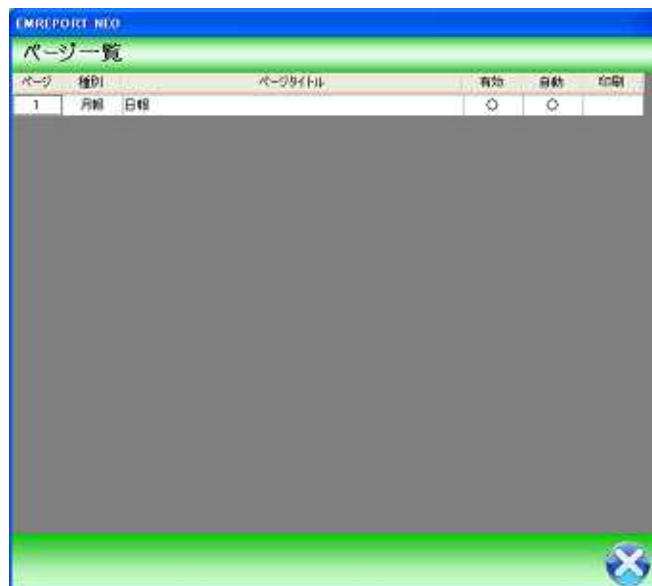
なお、タグ名の表示を省略した場合も、上記レイアウトは変わりません。

- 表示タグ選択 : 編集集中のページに出力したいデータタグを、タグマスタから選択し任意の順番に指定します。
- タグマスタ : 登録済みのタグ情報一覧です。
- ・ブランクタグ : タグマスタに表示されている当タグを詳細設定に登録することにより、出力されるレポートに任意に空白行を設定することが可能です。

- 詳細設定 : 編集集中ページで選択済みのタグ情報一覧です。 単位、小数桁数、係数、演算式、合計移動桁 を指定・変更可能です。
 - 単位 : 初期値はタグ登録時の単位です。 任意に変更可能です。
 - 小数桁 : 初期値は2 です。0~6 の範囲で変更可能です。指定した小数桁で四捨五入します。レポートファイルおよびCSV ファイル出力時に反映されます。
 - 係数 : 工業単位の変更等の際や、出力された値に一定数を乗算したい場合に利用します。初期値は0 です。指定された数値演算します。
 - 演算子 : タグの値に係数を演算する方法を指定します。「×」「÷」「+」「-」「使用しない」から選択します。「使用しない」を選択すると、係数の計算を行いません。
 - 合計移動桁 : 集計項目の合計に表示する値に対して小数点の移動を行います。プラス値に指定すると、10 の n 乗分の桁移動を行います。マイナス値を指定すると、10 の -n 乗分の桁移動を行います。「0」の場合は桁移動しないで出力します。
 - タグマスタから詳細設定へのドラッグ&ドロップ ([タグの追加]) : タグマスタリスト上から詳細設定にマウスでドラッグ&ドロップを行うと、タグが追加されます。(同一タグの複数選択可)
1 ページに設定できるタグの最大数は、パッケージ情報(別紙)に記載されたタグ数までとなります。
 - 詳細設定からタグマスタへのドラッグ&ドロップ ([タグの削除]) : 詳細設定のタグをタグマスタリストにマウスでドラッグ&ドロップを行うと、タグが削除されます。

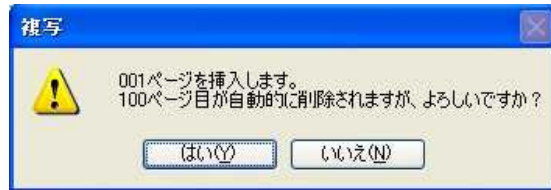
注意! ページレイアウトの登録タグは、プログラム内部ではデータタグ設定画面の“ No ”で記憶されます。 このためデータタグ設定画面で任意のタグのタグ名称が変更された場合、その No. のタグを使用しているページレイアウト上も自動的にタグ名が修正されます。

- [ページ一覧] ボタン : ページ情報の一覧表示ダイアログを表示します。
(NO. / 種類 / タイトル / 有効フラグ / 自動フラグ / 印刷フラグ)

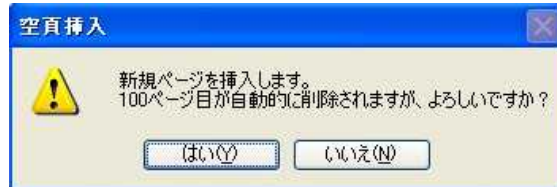


ページをクリックすると、該当ページのレイアウトを表示します。

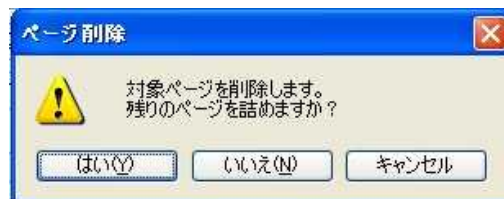
- [複写] ボタン : 現在のページの前に新たに複写元ページを追加します。
以降のページは後ろにシフトされます。複写ページは、[コピー] により選択されます。
最終ページに設定がある場合は削除されます。



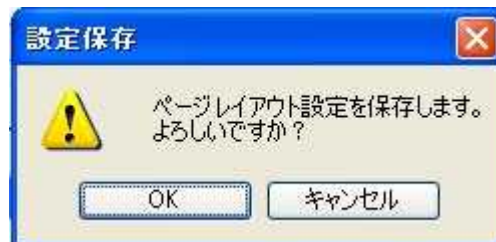
- [コピー] ボタン : 現在のページを複写元ページとして設定します。
- [新規挿入] ボタン : 現在のページの前に新たにページを追加します。
以降のページは後ろにシフトされます。
最終ページに設定がある場合は削除されます。



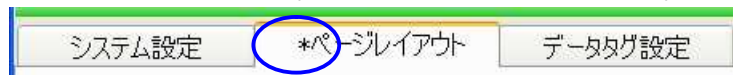
- [削除] ボタン : 現在編集集中のページを削除します。



- [保存] ボタン : ページ情報 (全ページ分) を ini ファイルに保存します。



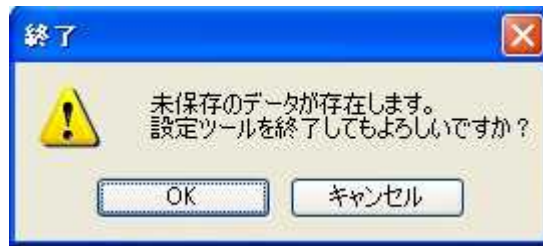
未保存の修正データがある場合は、ページレイアウトのタブタイトルの先頭に“*”が表示される形となります。「保存」を行うと消去されます。



未保存の状態でタブを移動する際も確認ダイアログが表示されます。



- [終了] ボタン : 設定ツールを終了します。
未保存の修正データがある場合は、確認ダイアログが表示されます。



手動出力時、自動出力動作時ともに、以上の情報に従い、指定のページを指定のレイアウトで作成・印刷します。

4.2.5. 日月報および年報作成・出力について

EMREPORT NEO では、毎日定時の処理時に収集 CSV ファイルの前日データの転送収集、日データ中間ファイル作成・保存を行います。月報、年報は毎日作成・保存された日データ中間ファイルを用い、このデータから指定の月報、日報を作成します。尚、タグ毎の定義が変更された場合（種別等）は、日データ中間ファイルからの再処理が必要となります。

月報作成時の締め日と月報データの関係

- ・月報レポートは、共通画面で指定された、締め日の翌日に自動作成されます。
この際に日データ中間ファイルが作成されていない日があった場合、その日のデータは欠測扱いとなります。

1 か月分の月報レポートは、締め日の翌日の出力時刻に自動作成されます。

1 か月のデータ範囲は、前月締め日翌日～当月締め日 のデータが当月の範囲となります。

（月末締めの際は前月初日～前月末日が前月の範囲）

例：締め日＝月末、2009 年 3 月期の月報の場合

開始日：2009 / 3 / 1 終了日：2009 / 3 / 31 自動出力日＝2009 / 4 / 1

例：締め日＝20 日、2009 年 3 月期の月報の場合

開始日：2009 / 2 / 21 終了日：2009 / 3 / 20 自動出力日＝2009 / 3 / 21

1 日分の差分値：1 日（締時に従う）分の 1 時間帯差分値の合計値

1 日分の瞬時値：1 日（締時に従う）分の 1 時間帯の瞬時の指定処理結果

（合計であれば 24 時間の合計、平均であれば 24 時間の

平均、最大 / 最小は 24 時間分からの最大 / 最小を反映する。

尚、正時値の場合は 1 日の平均値を使用する）

年報作成時の締め日 / 締め月と月報データの関係

- ・年報レポートは、共通画面で指定された、締め日 / 締め月の翌日に自動作成されます。
この際に対象期間で日データ中間ファイルが作成されていない日があった場合、その日のデータは欠測扱いとなります。

1 年度分の年報レポートは、締め月締め日の翌日の出力時刻に自動作成されます。

1 年度のデータ範囲は、前年締め月締め日の翌日～当月締め日 のデータが前年の範囲となります。

（12 月締め月末締めの際は前年初日～前年末日が前年度の範囲）

例：締め月＝3 月、締め日＝20 日、2008 年度年報の場合

開始月日：2008 / 3 / 21 終了月日：2009 / 3 / 20 自動出力日＝2009 / 3 / 21

例：締め月＝12 月締め日＝末日、2008 年度年報の場合

開始月日：2008 / 1 / 1 終了日：2008 / 12 / 31 自動出力日＝2009 / 1 / 1

1 月分の差分値：1 か月（締時締日に従う）分の 1 時間帯差分値の合計値

1 月分の瞬時値：1 か月（締日締時に従う）分の 1 時間帯の瞬時の指定処理結果

（合計であれば 1 か月分の合計、平均であれば 1 か月間の

平均、最大 / 最小は 1 か月分からの最大 / 最小を反映する。）

尚、正時値の場合は 1 日の平均値を使用する）

4.2.6. EMREPORT NEO 設定ツールのエラーメッセージについて

設定ツールは、以下のエラーメッセージを、各エラー検知時に表示します。

(メッセージは追加・変更されることがあります)

EMREPORT NEO Tool (設定変更ツール)

状況

メッセージ

起動時	
既に起動中で多重起動させようとする。	このアプリケーションを複数起動させる事はできません。
INI ファイルが存在しない状態で起動しようとする	ini ファイルが指定の位置に存在しません。 確認した後、再起動して下さい。

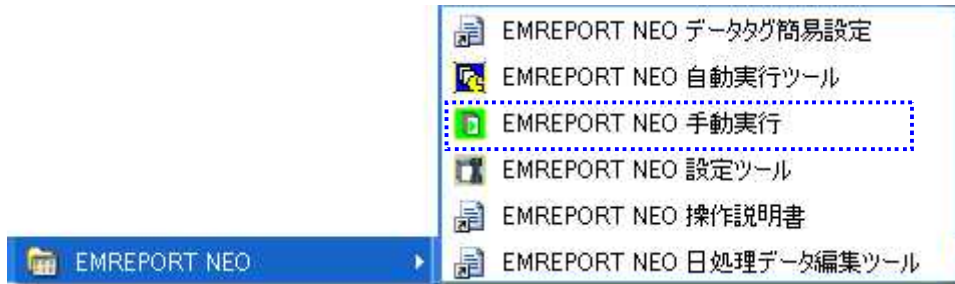
共通設定画面	
共通設定画面にて「保存」ボタンを押下した時。 指定場所に INI ファイルが存在しない。	ini ファイルが指定の位置に存在しません。 確認した後、再起動して下さい。

ページ設定画面	
ページ設定画面にて、「追加」ボタンを押下。 1 ページに 500 タグ以上登録	「1 ページは 500 タグまでしか使う事ができません。」

データタグ設定画面	
データタグ設定画面にて、「保存」ボタンを押下。 タグ名称が未設定の場合	「タグ名称が必要です、」
タグ ID、収集ファイル名が重複している場合。	タグ ID / 収集ファイル名は重複不可です。 重複しないタグ ID / 収集ファイル名を入力して下さい。

4.3. 手動実行の操作方法

EMREPORT NEO 手動実行 (EMREPORT.exe) を起動します



4.3.1. 手動実行画面



ファイル収集 : CSV ファイルを FTP でファイル収集する処理を行います。

(ボタンクリックで選択 / 解除)

既に収集済みの CSV ファイルを処理する場合は選択を解除します。

ファイル収集処理をする場合、自動的に日締処理も行うため、日締処理が選択状態になります。

- **収集ファイル上書き** :

CSV ファイル転送時に、指定期間内の PC 上の既存ファイルも

収集したい場合に指定します。未指定時は既存ファイルの収集は行われません。

日集計 : 収集した CSV ファイルから、指定期間の日集計処理を行い、日中間ファイルを作成します。

(ボタンクリックで選択 / 解除)

既に保存されている中間ファイルを使用する場合は選択を解除します。

ファイル収集が選択されている、または日報のレポート作成を選択している場合はエラーを表示し、解除することができません。



レポート作成：日中間ファイルから、指定期間・指定種別のレポートを作成します。

レポートの作成・出力を行わない場合は選択を解除します。（ボタンクリックで選択／解除）

日報のレポートを作成する場合、自動的に日集計も選択状態になります。

また、日報以外を選択し、ファイル収集を行わない場合、日集計は一旦解除します。

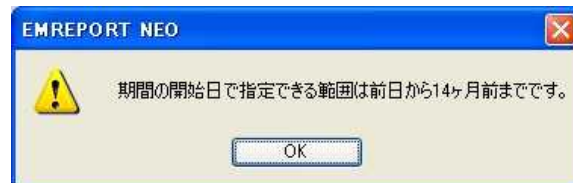
- レポートの印刷：作成したレポートの印刷出力を通常使うプリンタに出力します。
- 対象レポートの指定：レポート作成時の対象ページの指定を行います。

（レポート作成選択時のみ有効。）

- ・種別：レポートの種別を日報／月報／年報から選択します。
- ・対象ページ：出力したいページを一覧から選択します。（複数可）

共通操作：手動実行時に必ず指定する条件です。

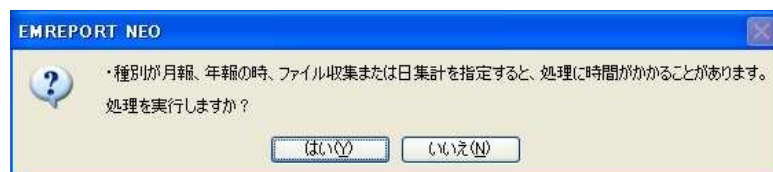
- 対象の期間：作成したい期間を指定します。
 - ・日報：任意の開始日から14ヶ月以内の期間のみ指定可能
実際の出力期間より、前後に1日ずつ多くデータを収集します。
 - ・月報：任意の開始日から14ヶ月以内の期間のみ指定可能
 - ・年報：任意の開始日から14ヶ月以内の期間のみ指定可能



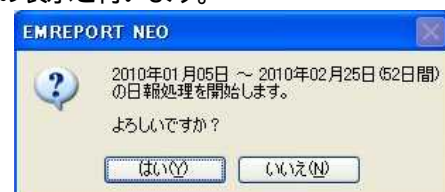
- レポート出力先：作成したレポートファイルを保存するフォルダを指定します。
指定が空白の場合は、設定ツールのシステム設定の保存フォルダになります。
この場所を、手動実行時のみ一時的に変更する事ができます。
- [実行] ボタン：指定内容に従って、ファイル収集／日集計／レポート作成／レポート印刷を行います。
 - ・対象ページを指定していない場合はエラーを表示して、実行処理を中断します。



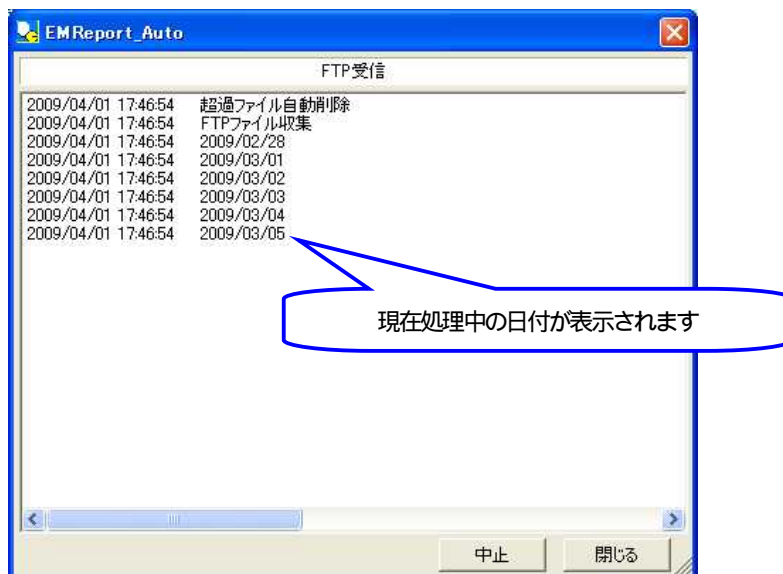
- ・月報と年報の指定でファイル収集を行う場合、処理に時間がかかる旨を知らせるメッセージを表示します。



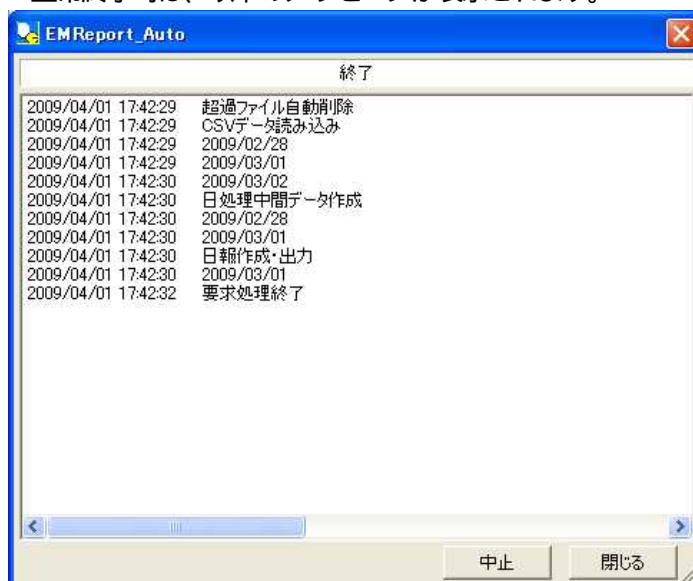
- ・実行前に確認メッセージの表示を行います。



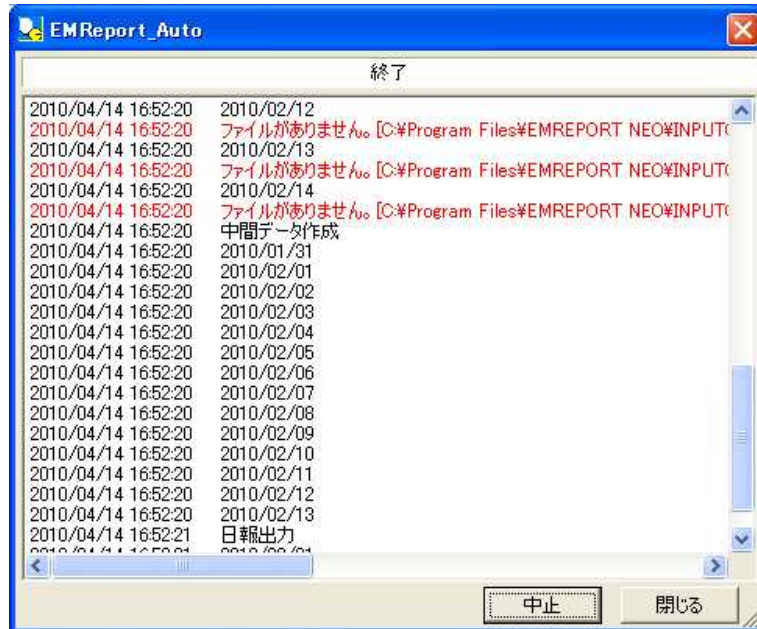
実行中は以下の画面が表示されます。



正常終了時は、以下のメッセージが表示されます。



ファイル収集不能、CSV ファイルが見つからなかった場合、出力先フォルダが作成不能、Excel ファイルが作成不能など、各種エラーは、赤字で以下のように表示されます。



メッセージは、スクロールバーにより全域の確認が可能です。（サイズ変更も可能です）

エラーメッセージ詳細:

形式: yyyy/mm/dd HH:MM:SS [対象ファイルのフルパス]
(タイムスタンプ) (エラー内容) エラー対象のファイル名

例:

2009/10/20 のデータファイルが見つからなかった際のメッセージ

“2009/11/05 7:14:25 ファイルがありません。

[c:\Program Files\EMREPORT NEO\Inport\Dlu1\Webdlubox051020.csv]”

これらのメッセージは、ログファイルにも出力されます。メッセージ画面を閉じた後は、毎日のログファイル (LOGyyyyymmdd.txt) を開いて確認して下さい。

実行メッセージウインドウ上のボタン操作

☆ [中止] ボタン: 現在処理中の要求を中止します。（「閉じる」ボタンが有効になります。）



● [閉じる]: メッセージウインドウを閉じます。（手動実行画面に戻ります。）
確認ダイアログは表示されません。

● [終了] ボタン : 手動実行を終了します。



4.3.2. EMREPORT NEO 作成ツールの正常 / エラーメッセージについて

レポート作成ツールは、以下のようなエラーメッセージを、各エラー検知時に表示します。
(メッセージは追加・変更されることがあります)

状況毎のメッセージ例

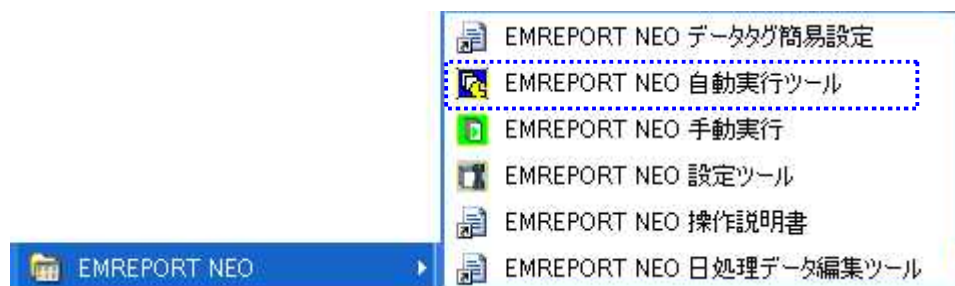
メッセージ ([]内はファイル名等が表示されます)

FTP ファイル転送に失敗したとき	FTP 受信 受信に失敗しました。 [ftp://1...]
FTP 接続ができないとき	FTP 受信 リモート サーバーに接続できません。
Excel ファイルに出力時、CSV ファイル読み出しにエラーが発生した時	CSV データ読み込みファイルがありません。[対象ファイル フルパス名]
Excel テンプレートファイルが開けないとき	日報出力 シートが開けません。 [対象ファイルフルパス名]
<p>上記メッセージについて</p> <p>エラー発生時にログに書き込みに行き、以下の形式でログに追加しています。</p> <p>yyyy/mm/dd HH:MM:SS エラーメッセージ / [上セルの[]内の表示]</p> <p>例)</p> <p>2009/02/17 10:00:00 日報出力 シートが開けません。</p> <p>[D:\Program Files\EMREPORT NEO\TEMPLATE\Day_Template1.xls-日報]</p>	

4.4. 自動実行 常駐機能操作方法

EMREPORT NEO 自動実行ツール (EMREPORT_task.exe) を起動します。

本機能は常駐動作を前提とします。



通常は、スタートアップに登録し、P C起動と同時に実行します。

実行中は、タスクトレイに、アイコンが表示されます。

マウスカーソルを乗せると、現在の状態（実行中 / 停止中）が表示されます。

アイコンのクリック、または右クリックにより下記の設定画面が表示されます。

停止中のアイコン及び操作ダイアログ



自動実行中のアイコン及び操作ダイアログ



自動実行中に生じたエラーメッセージは、全てログファイルに保存されています。

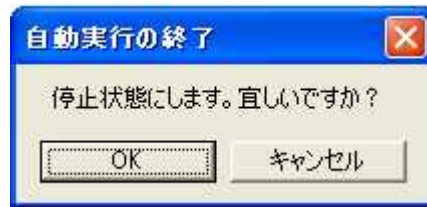
予定通りにレポートファイルが作成されていなかった場合は、まずログファイルの内容を確認して下さい。

- 日時 : 現在のP Cのシステム日時を表示します。
- 現在の状態 : 自動実行中か、停止中かの状態を表示します。
- [状態切り替え] : 自動実行を開始 / 停止を行います。 開始すると時刻を監視し、指定時刻で帳票の作成、印刷、保存を行います。
停止 開始の場合 :



- [OK] : 自動実行を開始します。
- [キャンセル] : ダイアログを閉じ、何もしません。

停止 開始の場合：

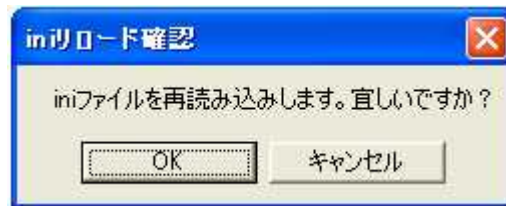


- ・[OK] : 自動実行を終了します。
- ・[キャンセル] : ダイアログを閉じ、何もしません。

注意：

停止を行うと、毎日の自動作成、印刷が行われなくなります。
充分に確認の上、一時的に自動運転を中断したいときにのみ、停止操作を行って下さい。

- [ini 再読込] : 本機能動作中に、設定ツールで設定変更をされた場合、その状況を本ボタンの押下で再度読み込みます。



- ・[OK] : 再読み込みを行い、この設定に従う動作に変わります。



- ・[キャンセル] : ダイアログを閉じ、何もしません。

- 終了 : 本システムを終了します。ただし通常は操作されません。

注意：

当アプリケーションによる自動実行処理は、原則1日1回しか実行されません。

4.4.1. EMREPORT NEO 自動実行の正常 / エラーメッセージについて

自動作成・印刷ツールは、以下のエラーメッセージを、エラーログファイル(LOGyyyyymmdd. txt)に出力します。
(メッセージは追加・変更されることがあります)

EMREPORT NEO AUTO (自動実行用 Exe) からのメッセージ

状況	メッセージ
既に起動中で多重起動させようとする。	このアプリケーションを複数起動させる事はできません。
INI ファイルが存在しない状態での起動。	ini ファイルが指定の位置に存在しません。 確認した後、再起動して下さい。
「ini ファイル読み」ボタン押下時に INI ファイルが存在しない。	ini ファイルが指定の位置に存在しません。 確認した後、再起動して下さい。

作成レポートイメージ：

例： 日報レポートファイル
(締め時：3時の例)

2024年09月09日 日曜日															
支店名															
管理名	SPMONITOR COM PMSU M	SPMONITOR COM PMSU I	SPMONITOR COM PMSU I	SPMONITOR COM PMSU I	SPMONITOR COM PMSU I	SPMONITOR COM PMSU I	SPMONITOR COM PMSU I	SPMONITOR COM PMSU I	SPMONITOR COM PMSU I	SPMONITOR COM PMSU I	SPMONITOR COM PMSU I	SPMONITOR COM PMSU I	SPMONITOR COM PMSU I	SPMONITOR COM PMSU I	SPMONITOR COM PMSU I
監視名称	ライオン工務 監視電力	ライオン工務 監視電力	ライオン工務 監視電力	ライオン工務 監視電力	ライオン工務 監視電力	ライオン工務 監視電力	ライオン工務 監視電力	ライオン工務 監視電力	ライオン工務 監視電力	ライオン工務 監視電力	ライオン工務 監視電力	ライオン工務 監視電力	ライオン工務 監視電力	ライオン工務 監視電力	ライオン工務 監視電力
時系列	1000h	V	A	W	E	1000h	V	V	V	A	W	W	1000h	1000h	A
03:00	956.7	105.6	34	2434.3	683.5	993.5	316.5	102	105.3	34	7302.9	2434.3	683.5	953.5	34
04:00	956.7	105.6	34	2434.3	683.5	993.5	316.5	102	105.3	34	7302.9	2434.3	683.5	953.5	34
05:00	956.7	105.6	34	2434.3	683.5	993.5	316.5	102	105.3	34	7302.9	2434.3	683.5	953.5	34
06:00	956.7	105.6	34	2434.3	683.5	993.5	316.5	102	105.3	34	7302.9	2434.3	683.5	953.5	34
07:00	956.7	105.6	34	2434.3	683.5	993.5	316.5	102	105.3	34	7302.9	2434.3	683.5	953.5	34
08:00	956.7	105.6	34	2434.3	683.5	993.5	316.5	102	105.3	34	7302.9	2434.3	683.5	953.5	34
09:00	956.7	105.6	34	2434.3	683.5	993.5	316.5	102	105.3	34	7302.9	2434.3	683.5	953.5	34
10:00	956.7	105.6	34	2434.3	683.5	993.5	316.5	102	105.3	34	7302.9	2434.3	683.5	953.5	34
11:00	956.7	105.6	34	2434.3	683.5	993.5	316.5	102	105.3	34	7302.9	2434.3	683.5	953.5	34
12:00	956.7	105.6	34	2434.3	683.5	993.5	316.5	102	105.3	34	7302.9	2434.3	683.5	953.5	34
13:00	956.7	105.6	34	2434.3	683.5	993.5	316.5	102	105.3	34	7302.9	2434.3	683.5	953.5	34
14:00	956.7	105.6	34	2434.3	683.5	993.5	316.5	102	105.3	34	7302.9	2434.3	683.5	953.5	34
15:00	956.7	105.6	34	2434.3	683.5	993.5	316.5	102	105.3	34	7302.9	2434.3	683.5	953.5	34
16:00	956.7	105.6	34	2434.3	683.5	993.5	316.5	102	105.3	34	7302.9	2434.3	683.5	953.5	34
17:00	956.7	105.6	34	2434.3	683.5	993.5	316.5	102	105.3	34	7302.9	2434.3	683.5	953.5	34
18:00	1287.7	105	36	2392.3	1014.5	1324.5	314.7	108	104.7	36	7176.9	2392.3	1014.5	1284.5	36
19:00	1688.7	105.6	34.4	2701.3	1415.5	1725.5	319.5	103.2	106.3	34.4	8103.9	2701.3	1415.5	1685.5	34.4
20:00	2189.7	105.6	34.7	2806.3	1912.5	2222.5	316.5	104.1	105.3	34.7	8418.9	2806.3	1912.5	2182.5	34.7
21:00	2762.7	104.7	35	2826.3	2489.5	2799.5	313.8	105	104.4	35	8475.9	2826.3	2489.5	2769.5	35
22:00	3344.7	105	34.5	2704.3	3071.5	3361.5	314.7	103.5	104.7	34.5	8112.9	2704.3	3071.5	3341.5	34.5
23:00	4558.7	104.6	35.2	4016.3	4393.5	4693.5	313.5	105.6	104.2	35.2	12048.9	4016.3	4393.5	4553.5	35.2
00:00	3552.7	104.7	32.3	2386.3	2719.3	2943.3	314.3	94.9	104.9	32.3	7195.9	2386.3	2719.3	3549.3	32.3
01:00	765.7	105.6	34.6	2417.3	483.5	993.5	319.5	103.8	106.3	34.6	7261.9	2417.3	483.5	763.5	34.6
02:00	956.7	105.6	34	2434.3	683.5	993.5	316.5	102	105.3	34	7302.9	2434.3	683.5	953.5	34
最大	4558.7	105.6	36	4016.3	4393.5	4693.5	319.5	105	106.3	36	12048.9	4016.3	4393.5	4553.5	36
最小	555.2	104.6	32.3	2392.3	279.3	589.3	313.5	99.9	104.2	32.3	7176.9	2392.3	279.3	549.3	32.3
平均	1830.9017	105.57683	34.15	2548.2583	1057.5667	1367.5667	315.80417	102.45	105.7625	34.15	7544.7	2548.2583	1057.5667	1827.5667	34.15
日合計	31343.8	2532.5	819.6	61157.6	63321.6	75913.8	2458.8	2526.3	819.6	18947.8	61157.6	25381.6	31981.6	819.6	

指定出力日：指定の位置に埋め込まれます。

ページタイトル：指定の位置に埋め込まれます。

タグ ID：ツールで指定したページ毎の貼付行列位置から、タグ ID 名が貼り付けられます。
(タグ ID の表示スキップを指定した場合は、何も表示されません)

タグ名称：の 1 行下から、拡張名称 (タグ名称) が貼り付けられます。

単位：の 2 行下から、単位が貼り付けられます。

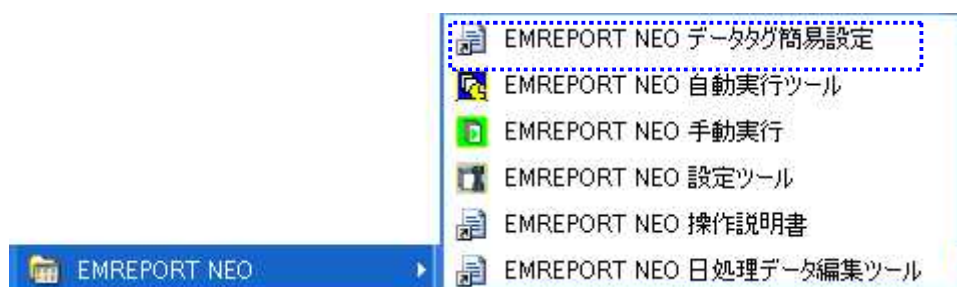
時系列：ツールで指定された締めに応じて、時系列が の 3 行下：1 列前から貼り付けられます。

データ：ツールで指定された情報に応じて、CSV ファイルから作成されたデータが の 3 行下から貼り付けられます。

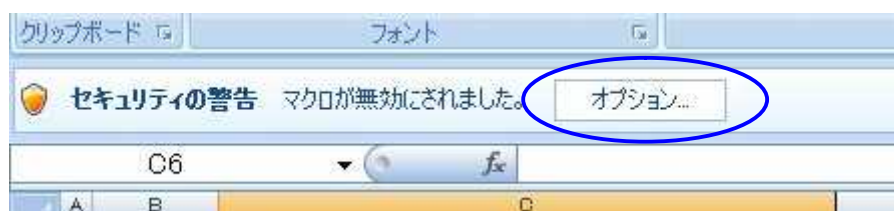
統計情報：ツールで指定された順番で、ページ毎に指定の統計情報が締め毎の計算結果として表示されます。

4.5. データタグ簡易設定

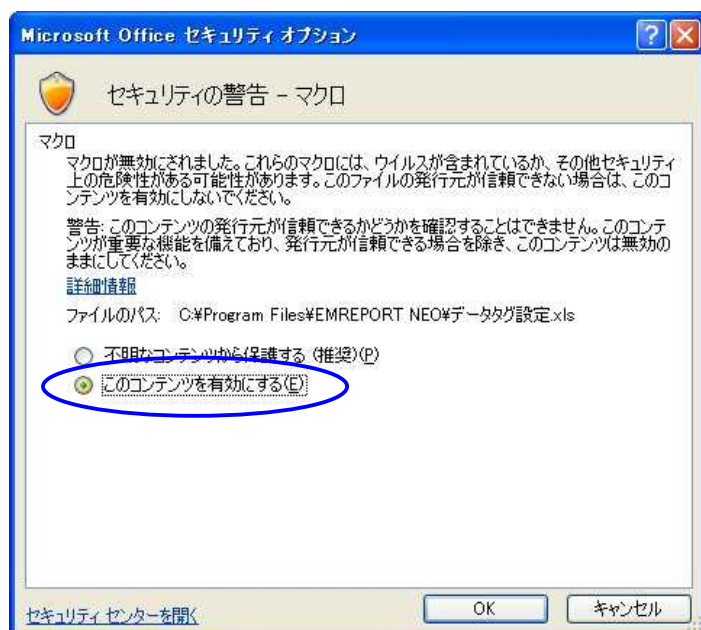
EMREPORT NEO データタグ簡易設定（データタグ設定.xls）を起動します。
本機能を実行するとエクセルから起動します。



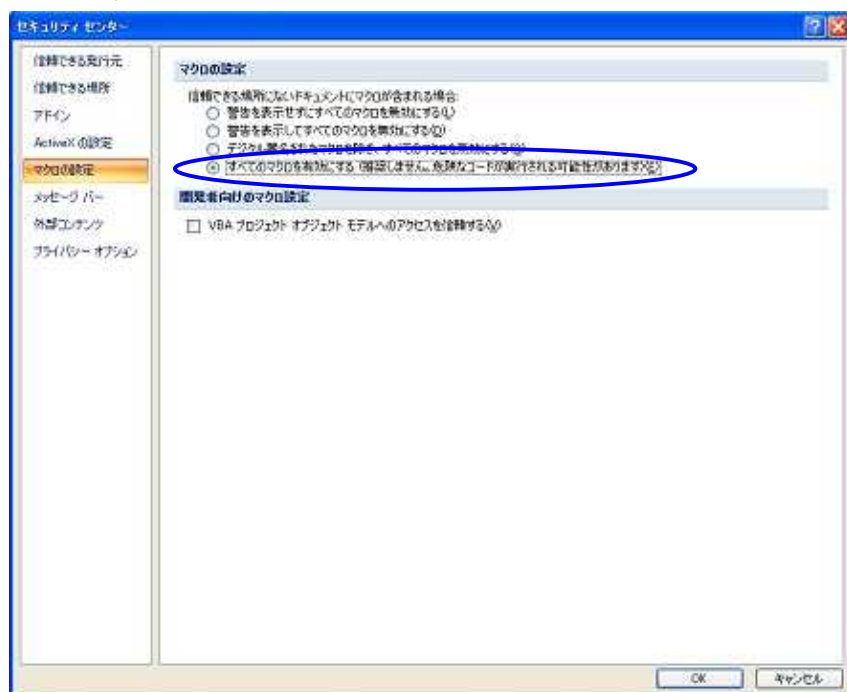
起動すると、エクセルのセキュリティの設定により、セキュリティの警告が表示されることがあります。
（画面はExcel 2007 の場合）



この表示が出た場合、「オプション」ボタンをクリックしてマクロを有効に設定してください。



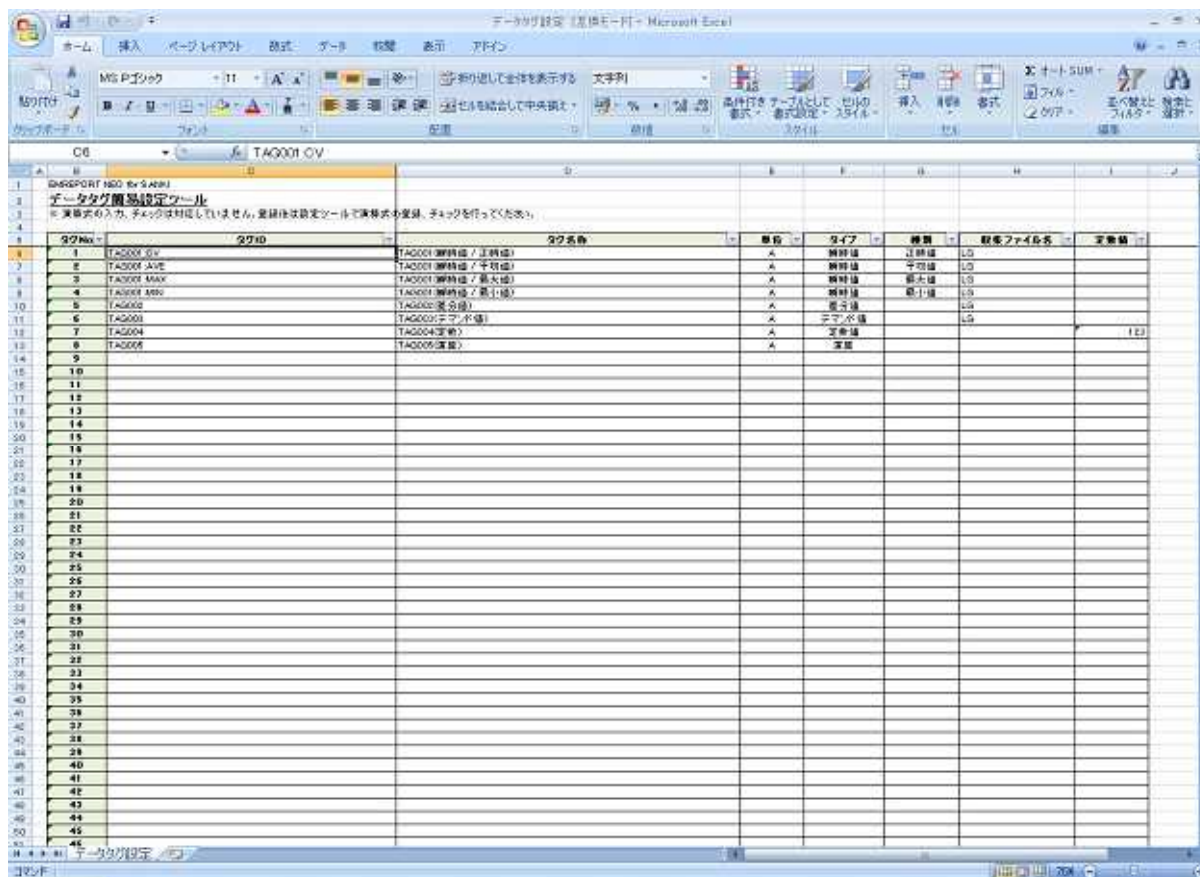
この警告は、起動毎に表示がでますが、「Excel のオプション」 - 「セキュリティセンター」 - 「セキュリティセンターの設定」でマクロの設定を「すべてのマクロを有効にする」にすると、警告を表示しないように設定することが可能です。



4.5.1. データタグ設定画面

設定ツールのデータタグ設定で登録する内容をエクセルで入力して登録します。

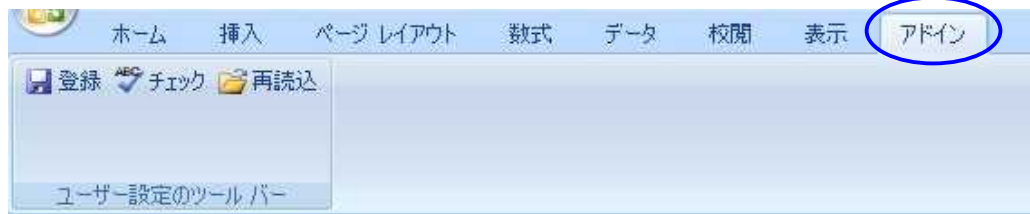
データタグ設定画面



- タグ No. : 1 ~ 2000 の連番となります。必ずしも並んでいる必要はありませんが、重複して設定するとエラーとなります。行コピーなどの操作をしたときに気をつけて設定してください。
- タグ ID : タイプの設定がある場合、必須となります。タイプが「瞬間値」「差分値」「デマンド値」の場合は「タグ ID + 収集ファイル名」で重複する場合にエラーとなります。
また、タイプが「定数値」「演算」の場合は、「タグ ID」が重複する場合にエラーとなります。
- タグ名 : タイプの設定がある場合、必須となります。
- 単位 : 任意に入力します。
- タイプ : 「瞬間値」「差分値」「デマンド値」「定数値」「演算」の中から選択します。
- 種類 : タイプが「瞬間値」の場合に、必須となります。「正時値」「平均値」「最大値」「最小値」の中から選択します。
- 収集ファイル名 : タイプが「瞬間値」「差分値」「デマンド値」の場合に、設定します。
登録時に空白の場合、初期値として、収集ファイル情報の 1 件目の収集ファイル名が入ります。
- 定数値 : タイプが「定数値」の場合に、必須となります。

各項目の詳細は「データタグ設定の登録4.2.2. データタグ設定の登録」と同じとなります。
この画面では通常のエクセルの操作（行コピー、セルコピー、シートのコピーなど）が可能です。

設定したタグを登録、チェックを行うには、アドインのメニューから実行します。



リボンメニューの中の「アドイン」をクリックすると、「ユーザー設定のツールバー」が表示されます。



Excel 2003 の場合は、ツールバーに表示されます。

- [登録]ボタン：シートに設定したタグ設定をチェックして、ファイルへ登録を行います。
- [チェック]ボタン：タグ設定のチェックを行います。必須項目が入っていなかったり、タグ No が重複していたりする場合は、エラーとなり、メッセージボックスで表示します。
- [再読込]ボタン：現在設定した内容を破棄して、設定ファイルを読み込み表示を行います。

上記の機能は現在表示されているシートに対して行います。そのため、シートコピーで設定をとっておいたシートに対しても「登録」、「チェック」、「再読込」を行うことが可能です。

このデータタグ設定では、タイプに「演算」を選択できますが、実際の演算式を入力することができません。
また、登録後の演算式のチェックは行いません。

演算式のチェックを行うために、登録後、一度設定ツールを立ち上げて、演算式の設定を行い、「登録」ボタンをクリックしてください。

5. レポート作成時の欠測等異常データの扱いについて

5.1. データファイルが存在しない場合の処理について

以下の場合、データファイルエラーとして、作成処理を中止し、ログファイルに CSV ファイルエラーのメッセージを保存します。この場合、レポートファイルは作成されません。

対象のデータファイルが、全てない場合。

データファイルのデータフォーマットが規定と異なる場合。

尚、2 ファイルにまたがる締めが指定されている場合は、指定日の該当データファイルが存在しない場合にデータファイルエラーとなります。

ファイルエラー時は、EMREPORT NEO セットアップフォルダ上にエラーログファイル（日毎）が作成され、これにエラーログが出力されます。また手動時は同様のエラーメッセージがメッセージ画面に表示されます。

エラーログファイル名：LOGyyyyymmdd.txt （yyyy=西暦、mm=月、dd=日）

内容例：

2009/03/30 15:14:34 CSV データ読み込み ファイルがありません。

[C:\¥EMREPORT NEO¥INPUTCSV¥dxdata1¥20090305.csv]

2009/03/30 15:15:32 FTP 受信 受信に失敗しました。[ftp://192.168.0.88/dldata1/nippou(20090305_TRG).csv]

エラーメッセージ詳細：

形式：yyyy/mm/dd HH:MM:SS

[対象ファイルのフルパス]

（タイムスタンプ） （エラー内容） エラー対象のファイル名

例：

2009/03/05 のデータファイルが見つからなかった際のメッセージ

2009/03/30 15:14:34 CSV データ読み込み ファイルがありません。

[C:\¥EMREPORT NEO¥INPUTCSV¥dxdata1¥20090305.csv]

2009/03/05 の 192.168.0.88 の FTP サーバに対するデータ収集が失敗した場合のメッセージ例

2009/03/30 15:15:32 FTP 受信 受信に失敗しました。[ftp://192.168.0.88/dldata1/nippou(20090305_TRG).csv]

5.2. 欠測について

以下の場合、レポート上で欠測扱いとします。

対象のタグ ID が CSV ファイル上にない場合

対象時間帯のデータが CSV ファイル上にない場合（1 時間未満の収集周期の場合、1 時間全てのデータがなかった場合のみ、欠測とします。1 時間中に 1 周期でもデータが検出された場合は、欠測としません。

CSV データ中、該当時間のデータが“(bad)”など、数値以外 になっていた場合。

上記の場合、レポート上は空白（欠測）とし、統計情報の計算要素から除外されます。

なお、1 ページ中の全時間帯のデータが空欄の場合、統計情報も空欄となります。

5.3. 日報の積算データの欠測について

日報の積算データが対象で、かつ収集周期が 1 時間未満の場合、欠測は以下の判断により行われます。

1 時間中の全ての周期のデータが全て存在しないか、異常の場合。

（1 周期でもデータが収集されていれば、その時間帯のデータは有効データとして処理されます。）

6. Windows Vista / 7 及び Excel2007 での EMREPORT NEO の動作について (同環境でご使用の際は必ずご覧下さい！)

6.1. Windows Vista / 7 上での動作と対処について

EMREPORT NEO は、Windows Vista / 7 環境上で正常に動作致しますが、Windows Vista / 7 の仕様上、Windows Vista / 7 および Excel2007 環境でご使用の場合、以下の対処が必要となります。

現象：

以下の環境の場合に動作が異常となります。

- ・ Windows Vista / 7 の UAC (ユーザーアクセスコントロール) 機能が有効の場合。

上記の状況から正常に動作させるには、「管理者権限でのログイン」、「UAC の解除」、または「管理者権限での実行」のいずれかの運用対処が必要となります。

対処手順：

ユーザーアクセスコントロール (以下 UAC) が有効の場合は、管理者権限でログインを行っていてもアプリケーションの起動はユーザー権限で行われます。

ユーザー権限ではごく限られた範囲のみ編集やファイル作成が可能のため、正常な動作に支障をきたします。

以下の方法のいずれかにより、対応を行って下さい。

プログラムファイルに管理者権限を付加する。

EMREPORT NEO アプリケーションを管理者権限で実行します。

emreport_auto.exe、emreport_tool.exe、emreport_task.exe を右クリック後、

「特権レベル：このプログラムを管理者として実行する」にチェックを入れ「適用」を押下します。

以上の操作を行うことにより、管理者権限で操作可能となり正常に動作します。

UAC を解除する。

UAC を無効化します。

(推奨されない操作です。可能であれば上記の管理者権限で実行することをお奨めします)

「コントロールパネル」内の「ユーザーアカウント」をダブルクリックし表示した後、

EMREPORT NEO を利用するユーザーを選択し、

「ユーザーアカウント制御の有効化または無効化」をクリックします。

画面が表示された後、「ユーザーアカウント制御を使ってコンピュータの保護に役立たせる」のチェックを外します。

上記操作後に「OK」ボタンを押下することにより、UAC を解除します。

6.2. Excel2007 上での動作について

EMREPORT NEO は、Excel2007 環境で正常に動作致します。ただし Excel2007 では使用するファイル拡張子の初期値が「.xlsx」の為、Excel2007 以前の Excel ファイル (.xls ファイル) を操作しようとした場合、

「開こうとしているファイルの形式は、ファイル拡張子が示す形式と異なります。このファイルを開く前に、ファイルが破損していないこと、信頼できる発行元からのファイルであることを確認してください。ファイルを今すぐ開きますか？」 のメッセージを表示します。

上記メッセージが表示された場合は、「OK」ボタンを押下する事で正常にレポート内容を確認する事が可能です。レポートの印刷については、手動、自動に関わらず Excel2007 にかかる特別な操作は必要有りません。(テンプレートファイルの拡張子は、"xls" のみ使用可能となります。)

7. 付録1 仕様：

7.1. 動作環境

ハードウェアスペック：

PC：PC/AT 互換機

メモリ：256MB 以上（推奨 512MB 以上）

HDD：40GB 以上

ソフトウェアスペック：

OS：Microsoft Windows XP / Vista / 7

必要ソフト：Microsoft Excel 2003 または Excel 2007(必須)

7.2. スペック：

- レポート最大登録ページ数 : 100 ページ
- 1 ページ中最大タグ数 : パッケージ情報(別紙)に記載されたタグ数
- 最大登録タグ数 : 2000 タグ
- 出力レポート種別 : 日報 / 月報 / 年報
- 各レポート 時間軸単位 : 日報 = 1/5/10/15/30/60 分のいずれかが選択可能
月報 = 1 日毎
年報 = 1 年毎
レポートごとの時間軸単位で、締めの設定が可能です。
- 最大登録収集ファイル数 : パッケージ情報(別紙)に記載された件数
- 作成されるレポート形式 : Excel Workbook 形式 (1 締め単位で 1 ファイルの形。1 シート=1 ページ)
- 指定可能な雛型ファイル : Excel Workbook 形式ファイル (1 ファイル 1 シートのみ対応)
(日報 / 月報 / 年報のページ別に指定可能です)
- 再作成可能期間 : 当月より過去 14 ヶ月分

8. 付録2 ソフトウェア構成：

EMREPORT NEO 設定ツール : EMREPORT_Tool.EXE

タグ情報の登録、レポートの共通設定項目、ページレイアウト設定を行います。

レポート自動作成（常駐機能）: EMREPORT_Task.EXE

設定ツールで設定された時刻に基づいて、各種レポートの CSV ファイルからの自動作成、自動印刷の開始を行います。（EMREPORT_Auto.EXE をコール）

レポート手動作成機能 : EMREPORT.EXE

任意のページ、レポートタイプ、期間を設定してレポートファイルの作成・印刷を手動で行います

レポート作成バッチ : EMREPORT_Auto.EXE

設定ツールで設定された情報に基づいて、各種レポートを CSV ファイルから自動作成、自動印刷します。

データタグ簡易設定ツール : データタグ設定.xls

エクセルでデータタグ設定を一括入力を行うツールです。

共通設定情報ファイル : Logger.ini

レポート作成ツールの共通設定タブで指定された各種情報を保存する ini ファイルです。

ページレイアウト情報ファイル : Pagelayout.ini

レポート作成ツールのページレイアウト設定タブで指定された情報を保存する ini ファイルです。

タグ登録情報ファイル : PointEntry.ini

レポート作成ツールのタグ登録情報で指定された情報を保存する ini ファイルです。

⑩ 収集ファイル設定ファイル : FileEntry.ini

設定ツールで設定された収集ファイルの情報を保存する ini ファイルです。

レポート用テンプレートファイル : 各種レポートの雛型となる Excel Workbook 形式テンプレートファイルです。インストール時に、サンプルファイル（拡張子：XLS）が提供されます。ユーザーはサンプルファイルを参考に、任意のテンプレートファイルを作成してご使用ください。

日報中間ファイル : ("w_m" + ppp_yymm.csv)

月年報作成用の日データファイルです。月単位 / ページ単位に作成されます。14か月分が保存され、15か月以降は、月次処理時に最旧ファイルが自動削除されます。

収集データファイル : 任意名.csv（ファイル形式および収集ファイルの設定情報を反映します。）

各種計測システムからファイル収集等により収集した計測データ CSV ファイルです。

14か月分が保存され、15か月以降は、日処理時に最旧ファイルが自動削除されます。

9. 付録3 本パッケージの機能一覧：

DLU データファイルほか、各種データ計測 CSV ファイル（日単位）を基にした、以下のレポートファイルの作成

日報ファイル（1日1ファイル 1時間単位のレポートファイル）

月報ファイル（1か月1ファイル 1日単位のレポートファイル）

年報ファイル（1年1ファイル 1ヶ月単位のレポートファイル）

日報用ロガーデータファイル毎に、6種類の収集周期から1つを指定可能です。

（1分/5分/10分/15分/30分/1時間）

1時間以外の場合、時間毎差分値は1時間帯分の合計値とします。瞬時値は各タグ設定に従い演算されます。

各種レポートファイル毎の締め自由設定機能

締めに応じた、統計情報の出力指定機能（合計、平均、最大、最小を任意に指定可能）

ページ毎のレイアウト指定が可能

ページ毎のタイプ（日報／月報／年報）

ページ毎のタグ順番（最大500タグ）

ページ毎の埋め込み開始行／列

ページ毎のタイトル／タイトル埋めこみ位置

ページ毎の指定日付埋めこみ位置

ページ毎の統計情報（行順）

ページ毎の有効指定

ページ毎の自動作成／印刷指定

ページ毎のテンプレートファイル設定

タグ毎の単位

タグ毎のタグ名称

タグ毎のタイプ（瞬時値／差分値／デマンド値／定数値／演算式）、瞬時値統計処理タイプ

タグ毎の収集ファイル指定

タグ毎の少数点以下桁数、桁位置移動桁数指定

収集ファイルごとのIPアドレス、ファイル名指定

自動印刷指定、自動作成指定、実行時刻の指定機能

タグIDの表示スキップが指定可能です。

任意のテンプレートファイル（EXCEL形式）をページ毎に指定可能

各種レポートファイルの、手動操作での再作成可能

指定可能なパラメータ：

ファイル収集機能（FTPからの収集）

日集計処理機能（日報中間ファイル作成）

レポート作成機能

レポート種別（日報／月報／年報）

指定ページ範囲

指定期間

印刷の有無

出力フォルダ／CSV出力ファイル

著作者 日本コンピューターテクノス株式会社 開発技術部
発行者 日本コンピューターテクノス株式会社
〒102-0074 東京都千代田区九段南 3-5-7 エミナンス九段ビル3F